

## 厚生労働省「ものづくりマイスター」認定申請要領

### 1. 厚生労働省「ものづくりマイスター制度」概要

「ものづくりマイスター制度」とは、高度な技能を持ったものづくりマイスターが、技能競技大会の競技課題等を活用し、中小企業や教育訓練機関で広く若年技能者への実技指導等を行い、効果的な技能の継承や後継者の育成を行うものである。

ものづくりマイスターは、指導領域により、次の3区分を設けるものとする。

#### (1) ものづくりマイスター

建設系及び製造系の分野で、中小企業・業界団体、工業高校等の教育訓練機関の若年者に実技指導を行い、効果的な技能の継承や後継者の育成を支援する。

(実技指導の例)

- ① 熟練技能の継承のため、例えば若手社員に工作機械（汎用機）で加工する技能を習得する指導
- ② 工業高校のカリキュラムに合わせ、実務経験豊富な技能者から実技指導を受け、生徒の技能習得の効果を高める指導
- ③ 熟練技能者が持つ、機械に置き換えることができないカン・コツを若手技能者に継承させる指導
- ④ 技能の習得に加え、ものづくりや建設の現場における生産性向上のための改善指導（D X技術を用いない改善指導 ※）

※ 技能の実技指導に加え、生産性向上のための改善指導（D X技術を用いない範囲）が可能なものづくりマイスターについては、D X技術を用いない改善指導が可能なものづくりマイスターとして登録する。

#### (2) ものづくりマイスター（+D X）

近年の製造現場におけるD X技術の導入を推進するため、ものづくりマイスターの実技指導に加えて、D X技術を活用した実践的な生産性向上のための改善指導を行う。

(実技指導の例)

- ① 既存の生産管理システムの問題点等把握と問題点の抽出、生産工程、作業管理、稼働率の見える化による作業改善ができる若手社員の指導
- ② 新しいI T技術を導入した際のデータの利活用・連携が効果的に行われるためのプロセスについての具体的な指導
- ③ 職種の特性に応じた、D Xの利活用による生産効率の改善に関する指導
- ④ 企業の課題・ニーズに合わせた、D X推進の取り組みにおける若年社員への指導

#### (3) ものづくりマイスター（I T部門）

中小企業・業界団体、工業高校 等教育訓練機関の若年者に、I Tスキルを使いこなせる実技指導を行う。

(実技指導の例)

- ① ウェブデザインの技能レベルの向上を図るため、技能検定の試験課題を活用した指導
- ② 技能五輪全国大会の課題を活用して、生徒がクラウドコンピューティングについての高い技能を段階的に習得するための指導
- ③ 既存の社内データの見直し、適切なビッグデータの収集や加工の方法、分析等までができる若手社員育成のための指導
- ④ 組織内におけるI Tリテラシーの向上を図るための指導

## 2. 実施体制

- (1) 中央技能振興センター（以下「センター」という。）は、ものづくりマイスターの認定・登録及び「ものづくりマイスター認定・登録システム」（以下「システム」という。）の管理・運営を行う。
- (2) 地域技能振興コーナー（以下「コーナー」という。）は、ものづくりマイスターの掘り起こし・募集・申請書類の確認・センターへの取次ぎ及び結果通知・認定証交付・派遣コーディネートを行う。

## 3. ものづくりマイスターの認定・登録

### (1) ものづくりマイスターの認定基準

ものづくりマイスターは、次の①から④までのすべての要件を満たす者とする。

#### ① 次のアからキまでのいずれかに該当すること

ア 別表第1の左欄各号に掲げる職種（以下「(1)認定対象職種」という。）の特級、1級又は単一等級の技能士

イ 技能五輪全国大会の競技職種のうち、別表第1の右欄に掲げるものにおける成績優秀者（銅賞以上）

ウ 高度熟練技能者のうち(1)認定対象職種に該当するもの（高度熟練技能者…長年の経験と工夫を重ねることにより培われた優れた熟練技能を活かし、先端医療用の精密測定機器の組立てや自動車の試作エンジン部品の加工に携わるなど、世界に誇る日本のものづくりの発展を担ってきた方々であり、厚生労働省が平成10年度～平成21年度に認定）

エ 卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター（※）及びこれらに相当する熟達した技能者のうち認定対象職種に該当するもの

※ 更新制度があるため、資格が有効期間内であること。

オ 都道府県又は管内の地方自治体が行う熟練技能者表彰・認定制度のうち、被表彰者が技能検定1級又は単一等級と同等以上の技能を有している旨を都道府県が認定したものにより表彰・認定を受けた者であって、認定対象職種に該当するもの

カ 職業能力開発促進法施行規則（昭和44年労働省令第24号）第65条の規定により、1級又は単一等級の技能検定の実技試験の免除を受けることができる者のうち、(1)認定対象職種に該当するもの

キ 別表第2の左欄各号に掲げる職種について、右欄に掲げる要件に該当する者

#### ② (1)認定対象職種に関する実務経験が、認定基準に定める資格取得、入賞、表彰、認定等の時点から5年以上あること。

ただし、卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びこれらに相当する熟達した技能者のうち(1)認定対象職種に該当する者については、実務経験要件を免除する。

#### ③ (1)認定対象職種に関する実技指導経験が、認定基準に定める資格取得、入賞、表彰、認定等の時点から3年以上あること。(②の実務経験期間と重複して構わない。指導経験歴記録書（認定申請書別紙1）を提出。）

ただし、職業訓練指導員免許保持者（原則として認定対象職種に対応する職業訓練科とする：参考資料参照）、卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びこれらに相当する熟達した技能者のうち認定対象職種に該当する者については、実技指導経験要件を免除する。

#### ④ 技能の継承や後進者の育成に関して意欲を持って活動する意思及び能力があること

(2) ものづくりマイスター（+DX）の認定基準

ものづくりマイスターの認定要件を満たしている者のうち、DX技術を活用した改善指導に関する役割の付加を希望する者については、「DX技術・知識等に関する申告書」（認定申請書別紙2）及び「改善活動等実績申告書」（認定申請書別紙3）を提出することとし、その内容が要件を満たしている者について、ものづくりマイスター（+DX）として認定する。

(3) ものづくりマイスター（IT部門）の認定基準

ものづくりマイスター（IT部門）は、別表第3左欄各号に掲げる職種（以下「(2)認定対象職種」という。）ごとに、次の①から④までのすべてに該当すること。

① 以下のいずれかに該当する者（(2)認定対象職種ごとの認定基準に該当する資格は、別表第4を参照）

ア 技能検定（ウェブデザイン）1級

イ ITSS（※）のスキル習熟度レベル4以上に相当する情報技術関連の資格を有すること。

ウ 技能五輪全国大会の競技職種のうち、ITネットワークシステム、ウェブデザインの成績優秀者（銅賞以上）

エ 技能五輪国際大会の競技職種のうち、業務用ITソフトウェア・ソリューションズ、ウェブデザイン、ITネットワークシステム管理、グラフィックデザイン、クラウドコンピューティング、サイバーセキュリティ、モバイルアプリケーション開発、3Dデジタルゲームアートの成績優秀者（敢闘賞以上）であること。

② (2)認定対象職種に関する実務経験が、認定基準に定める資格取得、入賞等の時点から3年以上あること。

③ (2)認定対象職種に関する実技指導経験が、認定基準に定める資格取得、入賞等の時点から3年以上あること（②の実務経験期間と重複して構わない。指導経験歴記録書（認定申請書別紙1）を提出。）

なお、職業訓練指導員免許保持者（原則として認定対象職種に対応する職業訓練科とする：参考資料参照）については、実技指導経験要件を免除する。

ただし、「ITコーディネータ」資格により認定申請する場合は、職業訓練指導員免許保持者であっても実技指導経験要件免除の対象外とする。

④ 技能の継承や後進者の育成に関して意欲を持って活動する意思及び能力がある者

（※）ITスキル標準：経済産業省が定めている個人のIT関連能力を職種や専門分野ごとに明確化・体系化しIT人材に求められるスキルやキャリア（職業）を示した指標。（別紙）

(4) 申請資格

次の要件を満たしていることを申請資格とする。

① 応募時に、企業等に所属している者は代表者又は所属長の、それ以外の者は第三者（いずれも二親等以内の親族関係にある者及び個人名のための推薦を除く。）から、ものづくりマイスターとしてふさわしい者として推薦を受けられること。

② 認定を受けた場合、プロフィール・指導内容等の公表が可能であること。

(5) 付帯事項

- ① ものづくりマイスターの認定要件を満たしている者のうち、「D X技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望する者については、「改善活動等実績申告書」（認定申請書別紙3）を提出することとする。その内容が要件を満たしている者については、ホームページ上で、D X技術を用いない改善指導が可能なものづくりマイスターとして登録するとともにホームページ上でアピールポイントを掲載する。

なお、特級技能士、卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びこれらに相当する熟達した技能者の資格要件によりものづくりマイスターの申請を行う者で、「D X技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望する者については、「改善活動等実績申告書」（認定申請書別紙3）の提出を免除する。

- ② ものづくりマイスター（+D X）の申請を希望する者で、特級技能士、卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びこれらに相当する熟達した技能者の資格要件によりものづくりマイスター（+D X）の申請を希望する者については、「改善活動等実績申告書」（認定申請書別紙3）の提出を免除する。（「D X技術・知識等に関する申告書」（認定申請書別紙2）の提出は必須

(6) 認定・登録方法

- ① ものづくりマイスター及びものづくりマイスター（+D X）の認定希望者は、「ものづくりマイスター認定申請書（様式第1号）」を、ものづくりマイスター（I T部門）の認定希望者は「ものづくりマイスター（I T部門）認定申請書（様式第2号）」（以下「申請書」という。）を、在職者は事業所所在地、在職者でない者は居住地のコーナーへ提出し申請することを原則とする。

- ② コーナーは、上記①の申請書やその他添付資料について、必要事項が記載されているか（認定基準、申請資格に合致しているかどうか等）を確認のうえ、「申請書」のコーナー使用欄に必要事項を記入して、申請書写しを保存する。なお、申請書上で確認が困難である場合は、認定希望者と面談のうえ、確認すること。

申請書の写しについては、認定の可否に関わらずコーナーで保存するとともに、個人情報取扱い等注意すること。

- ③ ものづくりマイスターの認定・登録等は、次の手順をもって完了する。

ア コーナーは、「申請書」のコーナー使用欄に必要事項を記入のうえ、「申請書」の原本にシステムにより作成した「候補者台帳（ものづくりマイスター用）」（様式第3号）「候補者台帳（ものづくりマイスター（+D X）用）」（様式第4号）「候補者台帳（ものづくりマイスター（I T部門）用）」（様式第5号）を添えて、原則として認定委員会の開催を予定する月の前月のセンターが定める期日までにセンターへ提出する。

イ センターは、提出された「申請書」に基づいて審査委員会に諮り認定の可否を決定し、認定者の記載事項をシステムのデータベースへ登録するとともに、認定者個々の認定番号（データ登録番号と同じ：以下省略）を確定し、認定番号等を記入した「候補者台帳（ものづくりマイスター用）」（様式第3号）、「候補者台帳（ものづくりマイスター（+D X）用）」（様式第4号）「候補者台帳（ものづくりマイスター（I T部門）用）」（様式第5号）と「ものづくりマイスター認定証」（様式第6号）をコーナーに送付する。

ウ コーナーは、認定番号を「申請書」コピー右上の当該欄に記入（以降、この認定番号により管理する。）した上で、「ものづくりマイスター認定結果通知」（様式第7号）によりセンターから送付された認定証の交付を行う。

また、認定に至らなかった者には「ものづくりマイスター認定結果通知」（様式第8号）により通知を行う。

エ 認定されたものづくりマイスターは、認定後速やかに指導技法等講習を受講するものとし、コーナーはその受講状況を随時「指導技法等講習受講状況報告書」（様式第9号）によりセンターに報告する。

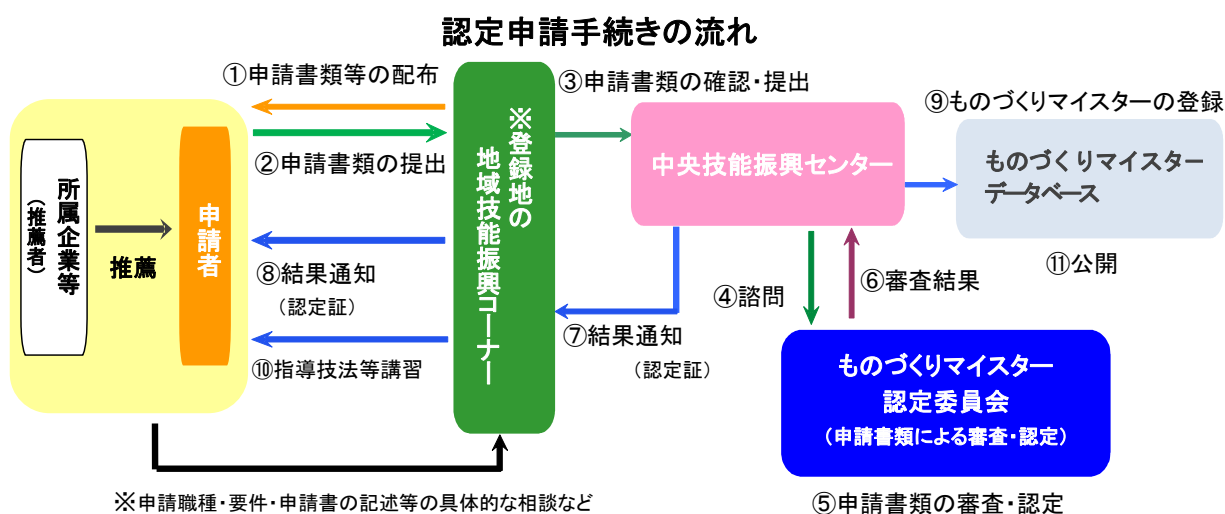
なお、次に該当する者は指導技法等講習の受講を免除することができる。

- |                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| ① 48時間講習修了者                    | ② 職業訓練指導員免許保持者 |
| ③ 高度熟練技能者活動経験者                 | ④ 特級技能士        |
| ⑤ 技能継承等インストラクター研修修了者（平成21年度実施） |                |
| ⑥ 卓越技能者（現代の名工）                 | ⑦ 全技連マイスター     |
| ⑧ ⑥⑦に相当する熟達した技能者               |                |

オ コーナーは、「ものづくりマイスターシンボルマーク」の腕章・ワッペンを管理するとともに、派遣に際してはものづくりマイスターにそれらを貸与する。

また、ものづくりマイスターから、「ものづくりマイスターシンボルマーク」の電子データを求められた場合、コーナーは当該データをシステムから交付する。

※ 腕章は、指導内容によっては、機械に巻き込まれるなど危険が生じる可能性がありますので、状況に応じて、マイスターに注意喚起をお願いいたします。



#### (7) 登録内容の変更

- ① ものづくりマイスターは、登録内容に変更が生じた場合、申請種別欄の変更欄にチェックした「申請書」（以下「申請書(変更)」という。）を速やかに登録したコーナーへ提出する。
- ② 「申請書(変更)」には、必須項目（申請種別、認定番号、氏名）及び変更する項目のみ記載すること。
- ③ 本人の責によらない軽微な変更（住所表示変更等）については、コーナーが代行して差し支えない。その場合はコーナー使用欄の備考に明記のこと。  
（活動条件の変更により一時的に活動ができなくなった場合は、ホームページ上、非公開扱いとする。）

- ④ ものづくりマイスターから、認定対象職種に該当する可能性のある、卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びこれらに相当する熟達した技能者に対する表彰又は認定を受けた旨の申し出があった場合は、変更申請を受け付ける。
- ⑤ コーナーは、「申請書（変更）」のコピーを保存し、原本をセンターへ提出する。

#### (8) 登録の解除

次の事項のいずれかに該当する場合は、登録を解除する。

- ① 本事業の目的又は内容を逸脱した行為を行ったと認められる場合、又は今後の活動が見込めない場合（過去3年間に1度も活動実績がない場合には、本人に活動継続の意志を確認する。）
- ② 申請内容に虚偽が判明し、悪質と判断された場合
- ③ ものづくりマイスター本人から、登録取消しの申し出があった場合

なお、コーナーは上記①～③の事案が発生した場合は、「登録の解除にかかる報告書」（様式第10号）をセンターへ提出する。

#### (9) 公表

ものづくりマイスターの情報提供として、認定対象職種及び「申請書」に記載された事項のうち、次の内容をホームページ上で公開する。

- ① 氏名及び性別
- ② 登録地（都道府県名）
- ③ 所属企業名及び所在地（市区町村まで）
- ④ 技能に係る主な取得資格・免許等（技能検定職種・作業名は現在の呼称で統一）
- ⑤ 得意とする指導内容
- ⑥ 活動条件
- ⑦ 主な技能指導実績

（WEB上で環境依存文字となる漢字は、JIS X 0213 に収録されている漢字〔JIS 第一～第三水準の漢字及び第四水準の漢字の一部〕で表示する。）

#### (10) 個人情報の扱い

収集した個人情報は、個人情報保護法に基づく、受託者が定めるものにより適切に管理すること。

### 4. その他

#### (1) 経過措置の終了

(1)認定対象職種は旧ものづくりマイスターの認定要件を、(2)認定対象職種は旧ITマスターの認定要件（ITSS 対象資格はレベル4に限る。）を満たす場合には、申請を可能とする経過措置は、令和5年度末をもって終了したので留意すること。

#### (2) イレギュラー事案の協議

本要領において判断のできない事案が生じた場合は、その都度、センターを通じ厚生労働省あて協議すること。

## 5. 様式等

(1) ものづくりマイスター認定申請書	様式第1号
(2) ものづくりマイスター認定対象職種コード表	様式第1号-2
(3) ものづくりマイスター（IT部門）認定申請書	様式第2号
(4) ものづくりマイスター（IT部門）認定対象職種コード表	様式第2号-2
(5) ものづくりマイスター候補者台帳	様式第3号
(6) ものづくりマイスター（+DX）候補者台帳	様式第4号
(7) ものづくりマイスター（IT部門）候補者台帳	様式第5号
(8) ものづくりマイスター認定証	様式第6号
(9) ものづくりマイスター認定結果通知	様式第7号
(10)                   〃           （認定に至らず）	様式第8号
(11) 指導技法研修受講状況報告書	様式第9号
(12) 登録の解除にかかる報告書	様式第10号
(13) 指導経験歴記録書	認定申請書別紙1
(14) DX技術・知識等に関する申告書	認定申請書別紙2
(15) 改善活動等実績申告書	認定申請書別紙3

平成25年6月18日制定  
平成26年5月19日改正  
平成26年9月26日改正  
平成27年4月21日改正  
平成28年4月15日改正  
平成29年4月5日改正  
平成30年4月10日改正  
平成31年4月15日改正  
令和2年3月17日改正  
令和3年3月31日改正  
令和4年10月1日改定  
令和5年5月15日改定  
令和5年11月15日改定  
令和6年5月15日改定

別表第 1

ものづくりマイスター 認定対象職種

ものづくりマイスター認定対象職種名	技能五輪全国大会の競技職種
(1) 造園	造園
(2) さく井	
(3) 金属溶解	
(4) 鋳造	
(5) 鍛造	
(6) 金属熱処理	
(7) 粉末冶金	
(8) 機械加工	精密機器組立て
	旋盤
	フライス盤
(9) 非接触除去加工（旧放電加工）	
(10) 金型製作	
(11) 金属プレス加工	
(12) 鉄工	構造物鉄工
(13) 建築板金	
(14) 工場板金	自動車板金
	曲げ板金
(15) めっき	
(16) アルミニウム陽極酸化処理	
(17) 溶射	
(18) 金属ばね製造	
(19) ロープ加工	
(20) 仕上げ	機械組立て
	抜き型
(21) 切削工具研削	
(22) 機械検査	
(23) ダイカスト	
(24) 機械保全	
(25) 電子回路接続	
(26) 電子機器組立て	電子機器組立て
(27) 電気機器組立て	工場電気設備
(28) 半導体製品製造	
(29) プリント配線板製造	
(30) 自動販売機調整	
(31) 産業車両整備	
(32) 鉄道車両製造・整備	
(33) 光学機器製造	
(34) 複写機組立て	
(35) 内燃機関組立て	
(36) 空気圧装置組立て	



ものづくりマイスター認定対象職種名	技能五輪全国大会の競技職種
(37) 油圧装置調整	
(38) 縫製機械整備	
(39) 建設機械整備	
(40) 農業機械整備	
(41) 冷凍空気調和機器施工	冷凍空調技術
(42) 染色	
(43) ニット製品製造	
(44) 婦人子供服製造	洋裁
(45) 紳士服製造	
(46) 和裁	和裁
(47) 寝具製作	
(48) 帆布製品製造	
(49) 布はく縫製	
(50) 機械木工	
(51) 木型製作	木型
(52) 家具製作	家具
(53) 建具製作	建具
(54) 紙器・段ボール箱製造	
(55) プリプレス	
(56) 印刷	
(57) 製本	
(58) プラスチック成形	
(59) 強化プラスチック成形	
(60) 陶磁器製造	
(61) 石材施工	石工
(62) パン製造	
(63) 菓子製造	洋菓子製造
(64) 製麺	
(65) ハム・ソーセージ・ベーコン製造	
(66) 水産練り製品製造	
(67) みそ製造	
(68) 酒造	
(69) 情報配線施工	情報ネットワーク施工
(70) 建築大工	建築大工
(71) 枠組壁建築	
(72) かわらぶき	
(73) とび	とび
(74) 左官	左官
(75) 築炉	
(76) ブロック建築	
(77) エーエルシーパネル施工	
(78) タイル張り	タイル張り
(79) 畳製作	
(80) 配管	配管
(81) 厨房設備施工	

ものづくりマイスター認定対象職種名	技能五輪全国大会の競技職種
(82) 型枠施工	
(83) 鉄筋施工	
(84) コンクリート圧送施工	
(85) 防水施工	
(86) 樹脂接着剤注入施工	
(87) 内装仕上げ施工	
(88) 熱絶縁施工	
(89) カーテンウォール施工	
(90) サッシ施工	
(91) 自動ドア施工	
(92) バルコニー施工	
(93) ガラス施工	
(94) ウェルポイント施工	
(95) テクニカルイラストレーション	
(96) 機械・プラント製図	機械製図
(97) 電気製図	
(98) 金属材料試験	
(99) 貴金属装身具製作	貴金属装身具
(100) 印章彫刻	
(101) 表装	
(102) 塗装	
(103) 路面標示施工	
(104) 広告美術仕上げ	
(105) 義肢・装具製作	
(106) メカトロニクス	メカトロニクス
(107) 電気溶接	電気溶接
(108) 電工	電工
(109) 自動車工	自動車工
(110) 車体塗装	車体塗装
(112) 時計修理	時計修理
(113) シーケンス制御	

※「(111) IT ネットワークシステム管理」は、H29 年度より旧 IT マスターの認定対象職種（現ものづくりマイスター（IT 部門））に移行したため、表中から削除された（コードは欠番）。

## 別表第 2

## ものづくりマイスター 認定要件

ものづくりマイスター認定対象職種名	要件
(107) 電気溶接	(一般社団法人) 日本溶接協会が実施する全国溶接技術競技会の成績優秀者(優秀賞まで)
	(一般社団法人) 軽金属溶接協会が実施する全国軽金属溶接技術競技会の成績優秀者(第1種～第3種の競技種目いずれかの準優勝まで)
(108) 電工	電気工事士法(昭和35年法律第139号)の規定による第一種電気工事士免状の交付を受けた、電気機器組立て職種の特級又は一級の技能士であること
(109) 自動車工	自動車整備士技能検定規則(昭和26年運輸省令第71号)の規定による一級小型自動車整備士であること

## 別表第 3

## ものづくりマイスター (IT部門) 認定対象職種

ものづくりマイスター (IT部門) 認定対象職種名	技能検定職種	技能五輪全国大会又は技能五輪 国際大会の競技職種
(1) ウェブデザイン	ウェブデザイン	ウェブデザイン
(2) IT ネットワークシステム管理		IT ネットワークシステム管理
(3) グラフィックデザイン		グラフィックデザイン
(4) 業務用 IT ソフトウェア・ソリューションズ (旧オフィスソフトウェア・ソリューション)		業務用 IT ソフトウェア・ソリューションズ
(5) ロボットソフト組込		無
(6) クラウドコンピューティング		クラウドコンピューティング
(7) サイバーセキュリティ		サイバーセキュリティ
(8) モバイルアプリケーション開発		モバイルアプリケーション開発
(9) 3D デジタルゲームアート		3D デジタルゲームアート
(10) AI・機械学習		無
(11) データサイエンス(ビッグデータ)		無

別表第 4

ものづくりマイスター（IT 部門）認定対象職種別主な関連資格

※原則として ITSS レベル 4 相当又は高度 IT 人材と認められる試験合格者、認定等保有者とする。

認定対象職種名	資格	更新制度
(1) ウェブデザイン	技能検定ウェブデザイン 1 級(NSPC)	無
(2) IT ネットワーク システム管理	情報処理技術者試験情報セキュリティスペシャリスト試験(IPA)	無
	情報処理技術者試験情報データベーススペシャリスト試験(IPA)	無
	情報処理技術者試験情報ネットワークスペシャリスト試験(IPA)	無
	CCIE Enterprise Infrastructure(Cisco)	有(3 年)※
	CCIE Security(Cisco)	有(3 年)※
	CCIE Collaboration(Cisco)	有(3 年)※
	CCIE Data Center(Cisco)	有(3 年)※
	CCIE Enterprise Wireless(Cisco)	有(3 年)※
	CCIE Service Provider(Cisco)	有(3 年)※
	IT コーディネータ ◆	有(1 年)※
(3) グラフィックデザイン	DTP エキスパート(JAGAT) 及び★	有(2 年)※
	★実務経歴書及びポートフォリオ(作品データ集)による審査有	—
(4) 業務用 IT ソフトウェア・ソリューションズ (旧 オフィスソフトウェア・ソリューション)	情報処理技術者試験情報データベーススペシャリスト試験(IPA)	無
	情報処理技術者試験情報プロジェクトマネージャ試験(IPA)	無
	情報処理技術者試験情報システムアーキテクト試験(IPA)	無
	IT 検証技術者レベル 4(日本科学技術連盟)以上(IVIA)	無
	ソフトウェア品質技術者資格中級(JCSQE)	無
	IT コーディネータ ◆	有(1 年)※
(5) ロボットソフト組込	情報処理技術者試験エンベデッドシステムスペシャリスト試験(IPA)	無
(6) クラウドコンピューティング	AWS 認定 professional 以上(Amazon)	有(3 年)※
	Google Cloud 認定 プロフェッショナル認定以上(Google Cloud)	有(2 年)※
	Microsoft Azure Expert 認定以上(Microsoft)	有(1 年)※
	IT コーディネータ ◆	有(1 年)※
(7) サイバーセキュリティ	情報処理技術者試験情報セキュリティスペシャリスト試験(IPA)	無
	情報処理安全確保支援士試験情報処理安全確保支援士(IPA)	有(3 年)※
	Microsoft セキュリティエンジニア Expert 認定以上(Microsoft)	有(1 年)※
	CISSP(Certified Information Systems Security Professional) (ISC) <sup>2</sup>	有(3 年)※
	CCIE Security(Cisco)	有(3 年)※
	IT コーディネータ ◆	有(1 年)※
(8) モバイルアプリケーション開発	情報処理技術者試験エンベデッドシステムスペシャリスト試験(IPA)	無
	情報処理技術者試験情報システムアーキテクト試験(IPA)	無
	IT 検証技術者レベル 4(日本科学技術連盟)以上(IVIA)	無
	ソフトウェア品質技術者資格中級(JCSQE)	無
(9) 3D デジタルゲームアート	CG クリエイター検定 及び★	無
	CG エンジニア検定 及び★	無
	画像処理エンジニア検定 及び★	無

認定対象職種名	資格	更新制度
	マルチメディア検定 及び★	無
	CG-ART 協会による各試験のエキスパート以上、2 つ以上のエキスパート保持者(CG-ARTS マイスター認定) 及び★	無
	★実務経歴書及びポートフォリオ(作品データ集)による審査有	—
(10) AI・機械学習	Microsoft AI エンジニア Expert 認定以上(Microsoft)	有(1 年)※
	E 検定(日本ディープラーニング協会)	有(2 年)※
	AI 実装検定・S 級(AIEO)	無
	Professional Data Engineer (google)	有(2 年)※
	AWS Certified Machine Learning(Amazon)	有(3 年)※
(11) データサイエンス (ビッグデータ)	Microsoft 認定試験データサイエンティストエキスパートレベル以上	有(1 年)※
	統計検定データサイエンス試験エキスパート	無

※ 更新制度がある認定、検定試験のため、各認定試験等の期限が有効期限内であることとする。

★の実務経歴書及びポートフォリオは、本人が個人又はチームで作成したプロジェクトやデータなど具体的な内容が分かるものをまとめて提出することとする。  
(参考資料 1 及び参考資料 2 を参照のうえ作成すること。)

◆「IT コーディネータ」資格で認定申請する場合は、認定申請書の「従事していた業務・作業の具体的な内容」欄及び「得意とする指導内容」欄に、認定対象職種に関する IT 技能の保有、活用の詳細を具体的に記入すること。

また、指導経験歴記録書(認定申請書別紙 1)の提出を必須とする。(IT 技能の実技指導の内容を成果も含めて具体的に記入すること。)

(「IT コーディネータ」資格による申請用の認定申請書様式及び指導経験歴記録書様式を別途配布するので、申請希望者は都道府県地域技能振興コーナーまでお問合せください。)



認定基準（２）実務経験※／申請技能に関する職歴の概要  
認定要件となる資格取得・表彰・認定等の時点から述べ５年以上

職種コード<1>関係【コード：                  名称：    】      職種

★ものづくりマイスターの認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。

★卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びこれらに該当する熟達した技能者のうち認定対象職種に該当するものについては、実務経験要件を免除します。ただし、実技指導のコーディネートの際の参考としますので、これまでの実務経験のうち、アピールポイントとなる実務経験を５年程度記入してください。（入職時点からのもので結構です。）

企業名、所属部署（役職）等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
	延べ実務経験年数 （                  ） 年	

職種コード<2>関係【コード：                  名称：    】      職種

★ 同上

企業名、所属部署（役職）等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
	延べ実務経験年数 （                  ） 年	

職種コード<3>関係【コード：                  名称：    】      職種

★ 同上

企業名、所属部署（役職）等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
	延べ実務経験年数 （                  ） 年	

認定基準（３）意欲を持って活動する意思及び能力	得意とする指導内容 以下の順序で記入ください。（簡潔に記入） 「指導する職種」「対象となる機械／方法／目標到達度」「アピールポイント」等			
	指導経験 (「指導経験歴記録書(認定申請書別紙1)」により算出された年数を記載〔1年に満たないものは切り捨て〕) ★ものづくりマイスターの認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの指導経験年数を記入してください。 ★職業訓練指導員免許保持者(原則として認定対象職種に対応する職業訓練科とする:参考資料参照)は、指導経験を免除します。 ★卓越した技能者(現代の名工)、全技連マイスター及びこれらに該当する熟達した技能者のうち認定対象職種に該当するものについては、指導経験を免除します。ただし、実技指導に際してのコーディネートとの参考としますので、これまでの指導経験のうち、アピールポイントとなる指導経験を3年程度記入してください。(入職時点からのもので結構です。)			
	認定対象職種		延べ指導経験年数	
	職種コード<1>関係【コード:	名称:	】 職種	年
	職種コード<2>関係【コード:	名称:	】 職種	年
	職種コード<3>関係【コード:	名称:	】 職種	年
認定基準以外の技能	・その他の技能に関する国家検定、公的資格の名称及び分野(資格記号等) (職業訓練指導員免許を保持している方は、この記入欄に記載するとともに、免許の写しを添付してください。)			
認定対象職種に対する、DX技術を活用した改善指導又はDX技術を用いない改善指導の役割の付加	役割区分		提出書類等	
	認定対象職種に対し、「DX技術の利活用による改善指導」の役割の付加を希望される方(「ものづくりマイスター(+DX)」の認定申請をされる方)		<input type="checkbox"/> DX技術・知識等に関する申告書 <input type="checkbox"/> 改善活動等実績申告書	
	特級技能士、卓越した技能者(現代の名工)、全技連マイスター及びこれらに該当する熟達した技能者の方で、認定対象職種に対し、「DX技術の利活用による改善指導」の役割の付加を希望される方(「ものづくりマイスター(+DX)」の認定申請をされる方)		<input type="checkbox"/> DX技術・知識等に関する申告書	
	特級技能士、卓越した技能者(現代の名工)、全技連マイスター及びこれらに該当する熟達した技能者の方で、「DX技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望される方 (ものづくりマイスター) ★提出書類が免除となりますが、役割付加の希望を確認させていただきます。		<input type="checkbox"/> 「DX技術を用いない改善指導」役割付加を希望する <input type="checkbox"/> 「DX技術を用いない改善指導」の役割付加を希望しない	
	認定対象職種に対し、「DX技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望される方 (ものづくりマイスター)		<input type="checkbox"/> 改善活動等実績申告書	
活動条件	登録地	都道府県名:		
	活動地域	<input type="checkbox"/> 登録都道府県地域 <input type="checkbox"/> 県外 <input type="checkbox"/> 特定地域 (    )		
	活動可能曜日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 祝日		
	活動可能時間帯	<input type="checkbox"/> 昼間 <input type="checkbox"/> 夜間		
	その他	<input type="checkbox"/> 遠距離活動可 <input type="checkbox"/> 遠距離活動不可		
	【コーナー使用欄】 <input type="checkbox"/> 生産性、品質向上に係る指導 <input type="checkbox"/> 人材育成方法の指導 <input type="checkbox"/> 労働安全衛生法を含む労働環境の改善に向けた指導 <input type="checkbox"/> 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構が実施する生産性向上支援訓練におけるITを活用した生産性向上・品質向上に係る訓練の講師経験			



要望事項 ※	
--------	--

【推薦欄】

上記の者をものづくりマイスターとして推薦します。

企業名：

推薦者名：

(代表者／所属長名)

〔記入に当たっての留意事項〕

- 1 記入にあたっては、「ものづくりマイスター認定申請要領」を参照してください
- 2 『申請種別』については、以下のとおりです。

新規：他の業種・職種も含めて、初めて申請される方

追加申請：過去に別の職種で認定を受けた方で、新たな職種の追加を希望される方

また、既に認定を受けた対象職種について、特級技能検定の取得又は改善活動等実績申告書の提出により、「DX技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望される方

変更：前回の申請事項(氏名、現住所、勤務先、認定基準以外の技能(認定された職種に関係があるもの)、活動条件)に変更がある方

また、既に認定を受けたものづくりマイスターで、認定対象職種に該当する可能性のある卓越した技能者(現代の名工)、全技連マイスター及びこれらに相当する熟達した技能者に対する表彰又は認定を受けた方

※追加申請・変更の場合は保有する認定番号を記載してください。
- 3 必須項目
- 太枠内は申請種別に限らず記入してください。その他の項目は以下のとおりです。

新規：「性別」・「生年月日」・「現住所(〒、電話、携帯電話、E-mail)」・「勤務先(〒、所在地、電話)」・「申請する職種コード」・「認定基準(1)～(3)」・「認定基準以外の技能」・「認定対象職種に対するDX技術を活用した改善指導又はDX技術を用いない改善指導の役割の付加」・「活動条件」・「推薦欄」

追加申請：「申請する職種コード」・「認定基準(1)～(3)」

変更：変更する項目のみに新しい内容を記入してください。
- 4 技能に係る主な取得資格等欄に記載した資格・免許等の写しを添付してください。
- 5 「推薦欄」について、企業等に所属している方は所属企業等の代表者/所属長(二親等以内は除く)の推薦が必要です。

自営業の方、勤務先の代表者又は所属長が2親等以内の場合は、所属の組合長など第三者の推薦が必要です。
- 6 本申請書に関する個人情報、当該事業に係わるものの他には使用いたしません。
- 7 各ページ右上のデータ登録番号欄には、記入しないでください。

【コーナー使用欄】

受理日	令和      年      月      日	確認者	
認定基準確認欄 (添付書類)	<input type="checkbox"/> 技能士 <input type="checkbox"/> 高度熟練技能者技能者 <input type="checkbox"/> 卓越した技能者(現代の名工)		
	<input type="checkbox"/> 全技連マイスター <input type="checkbox"/> 都道府県の卓越技能者 <input type="checkbox"/> 都道府県マイスター		
	<input type="checkbox"/> 技能競技大会成績優秀者 <input type="checkbox"/> 同等の能力		
	<input type="checkbox"/> 指導経験歴記録書(認定申請書別紙1)		
	<input type="checkbox"/> DX技術・知識等に関する申告書(認定申請書別紙2)		
	<input type="checkbox"/> 改善活動等実績申告書(認定申請書別紙3)		
指導技法等講習歴	<input type="checkbox"/> 要受講 <input type="checkbox"/> 免除(添付書類) <input type="checkbox"/> 修了 (    令和      年      月      日    )		
(備考)			



認定基準  
(2)実務経験※／申請技能に関する職歴の概要  
認定要件となる資格取得・表彰・認定等の時点から述べ5年以上

職種コード(1)関係【コード: 008 名称: 機械加工】 職種

★ものづくりマスターの認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。  
★卓越した技能者(現代の名工)、全技連マスター及びこれらに該当する熟達した技能者のうち認定対象職種に該当するものについては、実務経験要件を免除します。ただし、実技指導のコーディネートの際の参考としますので、これまでの実務経験のうち、アピールポイントとなる実務経験を5年程度記入してください。(入職時点からのもので結構です。)

企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
〇〇株式会社 〇〇工場 職長 中央製作所株式会社 〇〇部 製造課長	平成20年～令和元年 令和2年～現在  延べ実務経験年数 ( 15 ) 年	普通旋盤を使用した自動車関連部品の製造業務を担当、部品製造の他、品質管理、作業改善を行った。 <div>従事していた業務・作業の具体的な内容を、会社、部署を問わず、一つの職種についてまとめて書いてください。</div> <div>具体的に 例: 「〇〇畳店」 従事していた業務: 「畳製作」 等はNG</div>

職種コード(2)関係【コード: 020 名称: 仕上げ】 職種

★同上

企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
〇〇株式会社 〇〇工場 職長 中央製作所株式会社 〇〇部 製造課長	平成23年～令和元年 令和2年～現在  延べ実務経験年数 ( 12 ) 年	工作機械により製造された機械部品の仕上げ、組立て及び品質検査に関する業務を担当。また、計画的なOJTによりベテラン技能者が持つ熟練技能を若手社員に継承する取組みを行った。

職種コード(2)関係【コード: 名称: 】 職種

★同上

企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
	延べ実務経験年数 ( ) 年	

2/4 (2024)

認定基準 (3) 意欲を持って活動する意思及び能力	得意とする指導内容 以下の順序で記入ください。(簡潔に記入) 「指導する職種」「対象となる機械／方法／目標到達度」「アピールポイント」等		
	<b>【機械加工】</b> 普通旋盤作業について、○○○○○○○○の指導が行える。 また、入職者向けの訓練経験が豊富であるので、工業高校から中小企業まで幅広く指導が可能。 <b>【仕上げ】</b> 機械部品の仕上げ及び組立てについて、○○○○○○○○○○の指導が行える。 また、仕上げから組立てに至る工程の改善を行った経験があるので、作業改善も視野に入れた指導に対応できる。		
	<div>・単に実技指導が行えるなどとするのではなく、認定対象職種に対して、具体的にどのような作業や工程について教えられるのか、分かるように記入してください。</div> <div>・●級技能検定●●職種取得(合格)のための指導のような記載は避けてください。(「技能検定●●職種の課題を活用した指導～」、「技能検定●●の等級に合わせた指導～」などは可)</div> <div>・表彰歴や業界団体の役員を行っているなど、実技指導に直接関係の無い記載はしないでください。</div>		
	<b>指導経験</b> (「指導経験歴記録書(認定申請書別紙1)により算出された年数を記載[1年に満たないものは切り捨て]) ★ものづくりマスターの認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの指導経験年数を記入してください。 ★職業訓練指導員免許保持者(原則として認定対象職種に対応する職業訓練科とする:参考資料参照)については、指導経験を免除します。 ★卓越した技能者(現代の名工)、全技連マスター及びこれらに該当する熟達した技能者のうち認定対象職種に該当するものについては、指導経験を免除します。 ただし、実技指導に際してのコーディネートの一助としますので、これまでの指導経験のうち、アピールポイントとなる指導経験を3年程度記入してください。 (入職時点からのもので結構です。)		
	認定対象職種		延べ指導経験年数
	職種コード<1>関係【コード: 008 名称: 機械加工】職種	5 年	
	職種コード<2>関係【コード: 020 名称: 仕上げ】職種	4 年	
	職種コード<3>関係【コード: 名称: 免許の交付を受けた都道府県名を記載してください。】	年	
認定基準以外の技能	・その他の技能に関する国家検定、ムラサキ賞及び地方創生賞(賞状記号等)(職業訓練指導員免許を保持している方は、この欄に記載するとともに、免許の写しを添付してください。) 職業訓練指導員免許(機械科)(○○都道府県)(H25)、ガス溶接技能講習(H27)、ガス溶接作業主任者(H28)、移動式クレーン運転士(H29) 「ものづくりマスター(+DX)」の認定申請をされる方又はものづくりマスターに「DX技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望される方は、役割区分に応じた、申告書を提出してください。		
認定対象職種に対する、DX技術を活用した改善指導又はDX技術を用いない改善指導の役割の付加	役割区分	提出書類等	
	認定対象職種に対し、「DX技術の利活用による改善指導」の役割の付加を希望される方(「ものづくりマスター(+DX)」の認定申請をされる方)	<input type="checkbox"/> DX技術・知識等に関する申告書 <input type="checkbox"/> 改善活動等実績申告書	
	特級技能士、卓越した技能者(現代の名工)、全技連マスター及びこれらに該当する熟達した技能者の方で、認定対象職種に対し、「DX技術の利活用による改善指導」の役割の付加を希望される方(「ものづくりマスター(+DX)」の認定申請をされる方)	<input type="checkbox"/> DX技術・知識等に関する申告書	
	特級技能士、卓越した技能者(現代の名工)、全技連マスター及びこれらに該当する熟達した技能者の方で、「DX技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望される方(ものづくりマスター) ★提出書類が免除となりますが、役割付加の希望を確認させていただきます。	<input type="checkbox"/> 「DX技術を用いない改善指導」役割付加を希望する <input type="checkbox"/> 「DX技術を用いない改善指導」の役割付加を希望しない	
活動条件	登録地	都道府県名:	当該内容について、下記に挙げる資格をお持ちの方などについて、申請者へ聞き取りを行った上で、該当者にはチェックを入れてください。 【生産性、品質向上に係る指導】 特級技能士、高度熟練技能者、登録基幹技能者 【人材育成方法の指導】 特級技能士、職業訓練指導員 【労働安全衛生法を含む労働環境の改善に向けた指導】特級技能士、登録基幹技能者、労働衛生コンサルタント、労働安全コンサルタント 【コーナー使用欄】 <input type="checkbox"/> 生産性、品質向上に係る指導 <input type="checkbox"/> 労働安全衛生法を含む労働環境の改善に向けた指導 <input type="checkbox"/> 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構が実施する生産性向上支援訓練におけるITを活用した生産性向上・品質向上に係る訓練の講師経験
	活動地域	<input type="checkbox"/> 登録都道府県	
	活動可能曜日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 昼間	
	その他	<input type="checkbox"/> 遠距離活動可	
	宿泊を伴う遠距離活動が可能であるかどうか、チェックを入れてください。		

要望事項 ※	
--------	--

【推薦欄】

上記の者をものづくりマイスターとして推薦します。	<div>企業にお勤めの場合は、必ず勤務先の代表者又は所属長の推薦としてください。 (自営業の方、勤務先の代表者又は所属長が2親等以内の場合は、所属の組合長などの第三者の推薦が必要となります。)</div>
企業名：中央製作所株式会社	
推薦者名：工場長 中央 匠 (代表者／所属長名)	

【記入に当たっての留意事項】

- 1 記入にあたっては、「ものづくりマイスター認定申請要領」を参照してください
- 2 『申請種別』については、以下のとおりです。

新 規：他の業種・職種も含めて、初めて申請される方

追加申請：過去に別の職種で認定を受けた方で、新たな職種の追加を希望される方

また、既に認定を受けた対象職種について、特級技能検定の取得又は改善活動等実績申告書の提出により、「DX技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望される方

変 更：前回の申請事項(氏名、現住所、勤務先、認定基準以外の技能(認定された職種に関係があるもの)、活動条件)に変更がある方

また、既に認定を受けたものづくりマイスターで、認定対象職種に該当する可能性のある卓越した技能者(現代の名工)、全技連マイスター及びこれらに相当する熟達した技能者に対する表彰又は認定を受けた方

※追加申請・変更の場合は保有する認定番号を記載してください。
- 3 必須項目
- 太枠内は申請種別に限らず記入してください。その他の項目は以下のとおりです。
- 新 規：「性別」・「生年月日」・「現住所(〒、電話、携帯電話、E-mail)」・「勤務先(〒、所在地、電話)」・「申請する職種コード」・「認定基準(1)～(3)」・「認定基準以外の技能」・「認定対象職種に対するDX技術を活用した改善指導又はDX技術を用いない改善指導の役割の付加」・「活動条件」・「推薦欄」
- 追加申請：「申請する職種コード」・「認定基準(1)～(3)」
- 変 更：変更する項目のみに新しい内容を記入してください。
- 4 技能に係る主な取得資格等欄に記載した資格・免許等の写しを添付してください。
- 5 「推薦欄」について、企業等に所属している方は所属企業等の代表者/所属長(二親等以内は除く)の推薦が必要です。

自営業の方、勤務先の代表者又は所属長が2親等以内の場合は、所属の組合長など第三者の推薦が必要です。
- 6 本申請書に関する個人情報、当該事業に係わるものの他には使用いたしません。
- 7 各ページ右上のデータ登録番号欄には、記入しないでください。

【コーナー使用欄】

受理日	令和 年 月 日	確認者	
認定基準確認欄 (添付書類)	<input type="checkbox"/> 技能士	<input type="checkbox"/> 高度熟練技能者技能者	<input type="checkbox"/> 卓越した技能者(現代の名工)
	<input type="checkbox"/> 全技連マイスター	<input type="checkbox"/> 都道府県の卓越技能者	<input type="checkbox"/> 都道府県マイスター
	<input type="checkbox"/> 技能競技大会成績優秀者		<input type="checkbox"/> 同等の能力
	<input type="checkbox"/> 指導経歴記録書(認定申請書別紙1)		
	<input type="checkbox"/> DX技術・知識等に関する申告書(認定申請書別紙2)		
	<input type="checkbox"/> 改善活動等実績申告書(認定申請書別紙3)		
指導技法等講習歴	<input type="checkbox"/> 要受講	<input type="checkbox"/> 免除(免除要件書類を添付)	<input type="checkbox"/> 修了 ( 令和 年 月 日 )
(備考)			

## ものづくりマイスター 認定対象職種コード表

コード番号	ものづくりマイスター 認定対象職種	技能五輪全国大会の競技職種
001	造園	造園
002	さく井	
003	金属溶解	
004	鋳造	
005	鍛造	
006	金属熱処理	
007	粉末冶金	
008	機械加工	精密機器組立て 旋盤 フライス盤
009	非接触除去加工(旧放電加工)	
010	金型製作	
011	金属プレス加工	
012	鉄工	構造物鉄工
013	建築板金	
014	工場板金	自動車板金 曲げ板金
015	めつき	
016	アルミニウム陽極酸化処理	
017	溶射	
018	金属ばね製造	
019	ローブ加工	
020	仕上げ	機械組立て 抜き型
021	切削工具研削	
022	機械検査	
023	ダイカスト	
024	機械保全	
025	電子回路接続	
026	電子機器組立て	電子機器組立て
027	電気機器組立て	工場電気設備
028	半導体製品製造	
029	プリント配線板製造	
030	自動販売機調整	
031	産業車両整備	
032	鉄道車両製造・整備	
033	光学機器製造	
034	複写機組立て	
035	内燃機関組立て	
036	空気圧装置組立て	
037	油圧装置調整	
038	縫製機械整備	
039	建設機械整備	
040	農業機械整備	
041	冷凍空気調和機器施工	冷凍空調技術
042	染色	
043	ニット製品製造	
044	婦人子供服製造	洋裁
045	紳士服製造	

コード番号	ものづくりマイスター 認定対象職種	技能五輪全国大会の競技職種
046	和裁	和裁
047	寝具製作	
048	帆布製品製造	
049	布はく縫製	
050	機械木工	
051	木型製作	木型
052	家具製作	家具
053	建具製作	建具
054	紙器・段ボール箱製造	
055	ブリプレス	
056	印刷	
057	製本	
058	プラスチック成形	
059	強化プラスチック成形	
060	陶磁器製造	
061	石材施工	石工
062	パン製造	
063	菓子製造	洋菓子製造
064	製麺	
065	ハム・ソーセージ・ベーコン製造	
066	水産練り製品製造	
067	みそ製造	
068	酒造	
069	情報配線施工	情報ネットワーク施工
070	建築大工	建築大工
071	枠組壁建築	
072	かわらぶき	
073	とび	とび
074	左官	左官
075	築炉	
076	ブロック建築	
077	エーエルシーパネル施工	
078	タイル張り	タイル張り
079	畳製作	
080	配管	配管
081	厨房設備施工	
082	型枠施工	
083	鉄筋施工	
084	コンクリート圧送施工	
085	防水施工	
086	樹脂接着剤注入施工	
087	内装仕上げ施工	
088	熱絶縁施工	
089	カーテンウォール施工	
090	サッシ施工	
091	自動ドア施工	
092	バルコニー施工	
093	ガラス施工	
094	ウェルポイント施工	
095	テクニカルイラストレーション	
096	機械・プラント製図	機械製図
097	電気製図	

コード番号	ものづくりマイスター 認定対象職種	技能五輪全国大会の競技職種
098	金属材料試験	
099	貴金属装身具製作	貴金属装身具
100	印章彫刻	
101	表装	
102	塗装	
103	路面標示施工	
104	広告美術仕上げ	
105	義肢・装具製作	
106	メカトロニクス	メカトロニクス
107	電気溶接	電気溶接
108	電気	電気
109	自動車工	自動車工
110	車体塗装	車体塗装
112	時計修理	時計修理
113	シーケンス制御	

※ 「111 ITネットワークシステム管理」は、H29年度にITマスター職種(現ものづくりマイスター(IT部門))に移行したため、表中から削除(コードは欠番)

※ 申請するものづくりマイスター認定職種のコード番号は、保有する技能別に下記のとおり選択してください。

- ア 技能検定は上記コード表中欄各号に掲げる職種（以下「認定対象職種」という。）の特級又は1級若しくは単一等級の技能士
- イ 技能五輪全国大会の成績優秀者（銅賞以上）は、上記コード表の右欄に示された職種
- ウ 卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びその他これらに相当する熟達した技能者のうち、認定対象職種に該当する職種
- エ 高度熟練技能者は、認定対象職種に該当する職種
- オ 都道府県又は管内の地方自治体が行う熟練技能者表彰・認定制度のうち、技能検定1級又は単一等級と同等以上の技能を有している旨を都道府県が認定したものにより表彰・認定を受けた方は、認定対象職種に該当する職種
- カ 職業能力開発促進法施行規則（昭和44年労働省令第24号）第65条の規定により、1級又は単一等級の技能検定の実技試験の免除を受けることができる方は、認定対象職種に該当する職種
- キ 認定申請要領別表第2の右欄の要件に該当する者は、同表左欄の職種に該当する職種



データ登録番号【

コーナー整理番号	
----------	--

ものづくりマイスター(IT部門)認定申請書

申請日： 令和 年 月 日

中央技能振興センター長 殿

私は下記のとおり、ものづくりマイスター(IT部門)認定の申請をいたします。また、非公開項目(※印)としたものの他は、ものづくりマイスター制度のホームページ、資料等で制度周知のために公にされることを承諾いたします。

\*選択項目の場合は、□に✓印を入れてください。

申請種別	<input type="checkbox"/> 新規申請	<input type="checkbox"/> 追加申請	<input type="checkbox"/> 変更申請
認定番号*			

\*追加申請又は変更申請される場合。認定番号を記入してください。

ふりがな	姓	名	性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
氏 名					
生年月日※	西暦 年 月 日 [ 歳 ]				
現住所 ※	〒				
	電 話		FAX		
	携帯電話		E-mail		
勤務先 (在職者の場合記入)	名称	<input type="checkbox"/> 自営 (自営の場合□にチェック)			
	※ 所在地(都道府県市町村は公表)				
	〒				
申請する職種コード・ 名称(コード表から選 択)	<1>コード:		<2>コード:		<3>コード:
	名称:		名称:		名称:
等認定基準 (1)技能に係る主な資格取得等／証明書	技能検定の1級技能士				
	<input type="checkbox"/> 職種 ( ) 作業 ( ) 年度取得				
	その他の資格(現行制度の名称で記入してください。)				
	<input type="checkbox"/> ( ) 年度取得				
	<input type="checkbox"/> ( ) 年度取得				
	<input type="checkbox"/> ( ) 年度取得				
	<input type="checkbox"/> ( ) 年度取得				
	技能五輪全国大会の成績優秀者(銅賞以上)				
	技能五輪全国大会 第 ( ) 回大会 ( ) 職種 ( ) 賞				
	技能五輪国際大会の成績優秀者(敢闘賞以上)				
技能五輪国際大会 第 ( ) 回大会 ( ) 職種 ( ) 賞					

認定基準 (2)実務経験※／申請技能に関する職歴の概要 認定要件となる資格取得・表彰・認定等の時点から述べ3年以上	職種コード<1>関係【コード:                    名称:                    】職種		
	★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。		
	企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
		延べ実務経験年数 (                    ) 年	
	職種コード<2>関係【コード: 008                    名称:                    】職種		
	★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。		
	企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
		延べ実務経験年数 (                    ) 年	
	職種コード<3>関係【コード:                    名称:                    】職種		
	★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。		
	企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
		延べ実務経験年数 (                    ) 年	
	職種コード<4>関係【コード:                    名称:                    】職種		
	★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。		
	企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
		延べ実務経験年数 (                    ) 年	

得意とする指導内容　以下の順序で記入ください。（簡潔に記入）  
「指導する職種」「対象となる作業等」「指導内容／方法／目標到達度」「アピールポイント」等

認定基準（３）意欲を持って活動する意思及び能力

指導経験歴  
（「指導経験歴記録書（認定申請書別紙１）」により算出された年数を記載〔１年に満たないものは切り捨て〕）  
★ものづくりマイスター（IT部門）の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの指導経験年数を記入してください。  
★職業訓練指導員免許保持者（原則として認定対象職種に対応する職業訓練科とする：参考資料参照）については、指導経験を免除します。  
★ITコーディネータ資格により認定申請する場合は、職業訓練指導員免許保持者であっても指導経験免除の対象外とします。

認定対象職種		延べ指導経験年数
職種コード〈１〉関係【コード：	名称：	】 職種
職種コード〈２〉関係【コード：	名称：	】 職種
職種コード〈３〉関係【コード：	名称：	】 職種
職種コード〈４〉関係【コード：	名称：	】 職種

認定基準以外の技能

・その他の技能に関する国家検定、公的資格の名称及び分野（資格記号等）  
（職業訓練指導員免許を保持している方は、この記入欄に記載するとともに、免許の写しを添付してください。）

活動条件

登録地	都道府県名：
活動地域	<input type="checkbox"/> 登録都道府県地域 <input type="checkbox"/> 県外 <input type="checkbox"/> 特定地域（                                  ）
活動可能曜日	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 祝日
活動可能時間帯	<input type="checkbox"/> 昼間 <input type="checkbox"/> 夜間
その他（必ずご記載ください。） <input type="checkbox"/> 遠距離活動可 <input type="checkbox"/> 遠距離活動不可	

要望事項 ※

【推薦欄】

上記の者をものづくりマイスター(IT部門)として推薦します。

企業名:

推薦者名:

(代表者／所属長名)

〔記入に当たっての留意事項〕

- 1 記入にあたっては、「ものづくりマイスター認定申請要領」を参照してください
- 2 『申請種別』については、以下のとおりです。
  - 新規: 他の業種・職種も含めて、初めて申請される方
  - 追加申請: 過去に別の職種で認定を受けた方で、新たな職種の追加を希望される方
  - 変更: 前回の申請事項(氏名、現住所、勤務先、認定基準以外の技能(認定された職種に関係があるもの)、活動条件)に変更がある方※追加申請・変更の場合は保有する認定番号を記載してください。
- 3 必須項目  
太枠内は申請種別に限らず記入してください。その他の項目は以下のとおりです。
  - 新規: 「性別」・「生年月日」・「現住所(〒、電話、携帯電話、E-mail)」・「勤務先(〒、所在地、電話)」・「申請する職種コード」・「認定基準(1)～(3)」・「認定基準以外の技能」・「活動条件」・「推薦欄」
  - 追加申請: 「申請する職種コード」・「認定基準(1)～(3)」
  - 変更: 変更する項目のみに新しい内容を記入してください。
- 4 技能に係る主な取得資格等欄に記載した資格・免許等の写しを添付してください。
- 5 「推薦欄」について、企業等に所属している方は所属企業等の代表者/所属長(二親等以内は除く)の推薦が必要です。  
自営業の方、勤務先の代表者又は所属長が2親等以内の場合は、所属の組合長など第三者の推薦が必要です。
- 6 本申請書に関する個人情報は、当該事業に係わるものの他には使用いたしません。
- 7 各ページ右上のデータ登録番号欄には、記入しないでください。

【コーナー使用欄】

受理日	令和      年      月      日	確認者	
認定基準確認欄 (添付書類)	<input type="checkbox"/> 技能士 <input type="checkbox"/> 情報処理技術者試験		
	<input type="checkbox"/> 技能五輪全国大会又は技能五輪国際大会成績優秀者 <input type="checkbox"/> その他の資格		
	<input type="checkbox"/> 指導経歴記録書(認定申請書別紙1)		
	<input type="checkbox"/> 業務経歴書(「3Dデジタルゲームアート」「グラフィックデザイン」認定申請者のみ) <input type="checkbox"/> ポートフォリオ(「3Dデジタルゲームアート」「グラフィックデザイン」認定申請者のみ)		
指導技法等講習歴	<input type="checkbox"/> 要受講 <input type="checkbox"/> 免除(添付書類) <input type="checkbox"/> 修了 (      令和      年      月      日      )		
(備考)			

データ登録番号【

コーナー整理番号

ものづくりマイスター(IT部門)認定申請書(記入例)

申請日: 令和 6 年 月 日

中央技能振興センタ

私は下記のとおり、ものづくりマイスター制度のホー

①生年月日と年齢が合っているか確認してください。  
②認定委員会開催日時点での年齢に必要に応じてご修正ください。

(IT部門)認定の申請をいたします。また、非公開項目(※印)としたものの他は、ものづくりマイスター制度の周知のために公にされることを承諾いたします。

\*選択項目の場合は、□に✓印を入れてください。

申請種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規申請	<input type="checkbox"/> 追加申請	<input type="checkbox"/> 変更申請
認定番号*			

\*追加申請又は変更申請される場合、認定番号を記入してください。

ふりがな	姓	あいだ	名	めぐみ	性別	<input type="checkbox"/> 男	<input checked="" type="checkbox"/> 女
氏 名	会田		恵				
生年月日※	西暦 1977 年 5 月 1 日 [ 47 歳 ]						
現住所 ※	〒 * * * - * * * *		住所は都道府県名から記入してください				
	東京都新宿区西新宿1-2-3-405						
	電 話	03- * * * - * * * *	FAX	03- * * * - * * * *			
	携帯電話	090- * * * - * * * *	E-mail	t-monodukuri@ * * * *.co.jp			
勤務先 (在職者の場合記入)	名称	〇〇〇クリエイト株式会社					
	<input checked="" type="checkbox"/> 自営 (自営の場合□にチェック)						
	※ 所在地(都道府県市町村は公表)						
	〒 * * * - * * * *						
申請する職種コード・ 名称(コード表から選 択)	東京豊島区池袋6-7-8						
	※電 話	03- * * * - * * * *					
	<1>コード: 201		<2>コード: 202		<3>コード:		<4>コード:
	名称: ウェブデザイン	名称: ITネットワークシステム管理	名称:	名称:			
認定基準 (1)技能に係る主な資格取得等/証明書	技能検定の1級技能士						
	<input checked="" type="checkbox"/> ウェブデザイン 職種 ( ウェブデザイン ) 作業 ( H24 ) 年度取得						
	その他の資格(現行制度の名称で記入してください。)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報処理技術者試験情報セキュリティスペシャリスト試験 ( H29 ) 年度取得						
	<input type="checkbox"/> ( ) 年度取得						
	<input type="checkbox"/> ( ) 年度取得						
	<input type="checkbox"/> ( ) 年度取得						
	技能五輪全国大会の成績優秀者(銅賞以上)						
	技能五輪全国大会 第 ( ) 回大会 ( ) 職種 ( ) 賞						
	技能五輪国際大会の成績優秀者(敢闘賞以上)						
技能五輪国際大会 第 ( ) 回大会 ( ) 職種 ( ) 賞							

認定基準  
(2)実務経験  
※申請技能に関する職歴の概要  
認定要件となる資格取得・表彰・認定等の時点から述べ3年以上

職種コード(1)関係【コード: 201      名称: ウェブデザイン      】職種

★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。

企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
〇〇〇クリエイト株式会社 ウェブクリエイター チームリーダー	平成25年～平成29年          延べ実務経験年数 (    4    ) 年	HTMLを使用したホームページの作成及びPHPやデータベースを使用したWebシステムの構築を行った。 <div>従事していた業務・作業の具体的な内容を、会社、部署を問わず、一つの職種についてまとめて書いてください。</div>

職種コード(2)関係【コード: 202      名称: ITネットワークシステム管理      】職種

★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。

企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
〇〇クリエイト株式会社 ネットワークエンジニア プロジェクトリーダー	平成30年～現在          延べ実務経験年数 (    4    ) 年	顧客の情報システムに対する要求を分析し、アプリケーション、ネットワーク、データベースの各技術要素を組み合わせて情報システムを実現する。

職種コード(3)関係【コード:      名称:      】職種

★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。

企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
	          延べ実務経験年数 (            ) 年	

職種コード(4)関係【コード:      名称:      】職種

★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの実務経験を記入してください。

企業名、所属部署(役職)等	在職期間	従事していた業務・作業の具体的な内容
	          延べ実務経験年数 (            ) 年	

2/4 (2024)

認定基準  
(3)  
意欲を持って活動する  
意思及び能力

得意とする指導内容 以下の順序で記入ください。(簡潔に記入)  
「指導する職種」「対象となる作業等」「指導内容／方法／目標到達度」「アピールポイント」等

【ウェブデザイン】  
HTMLを使用した基本的なホームページのコーディング及び関連するソフトウェアの基本操作について指導することができる。  
また、販売促進の知識が豊富にあるので、売上向上を視野に入れたウェブコンテンツ制作の指導ができる。  
【ITネットワークシステム管理】  
ネットワーク(インターネット)の仕組みや関連機器の役割、これからのネットワーク技術やネットワークに潜む危険性などについて指導することができる。  
また、デジタル化による業務改善の知識があるので、IT関連技術の指導に加え、改善の視点に立った指導が得意である。

単に実技指導が行えるなどとするのではなく、認定を受ける職種別に、具体的にどのような作業や工程について教えられるのかわかるよう記入してください。  
また、派遣先とのマッチングの参考にするため、例えば実技指導に加えて、業務改善指導も行えるなど、アピールポイントも記入してください。

指導経歴

(「指導経歴記録書(認定申請書別紙1)」により算出された年数を記載[1年に満たないものは切り捨て])  
★ものづくりマイスター(IT部門)の認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの指導経過年数を記入してください。  
★職業訓練指導員免許保持者(原則として認定対象職種に対応する職業訓練科とする:参考資料参照)については、指導経歴を免除します。  
★ITコーディネータ資格により認定申請する場合は、職業訓練指導員免許保持者であっても指導経歴免除の対象外とします。

認定対象職種	延べ指導経過年数
職種コード<1>関係【コード:201 名称: ウェブデザイン】職種	3 年
職種コード<2>関係【コード: 202 名称: ITネットワークシステム管理】職種	3 年
職種コード<3>関係【コード: 名称: 】職種	年
職種コード<4>関係【コード: 名称: 】職種	年

認定基準以外の技能

・その他の技能に 免許の交付を受けた都道府県名を記載してください。(資格記号等)  
(職業訓練指導員免許を している方は、この記入欄に記載するとともに、免許の写しを添付してください。)

・職業訓練指導員免許(●●●県)(情報処理科)(R1)、コンピュータサービス技能評価試験(1級)(H30)

活動条件

都道府県名: ●●●県

活動地域 ☒ 登録都道府県地域 ☐ 県外 ☐ 特定地域 ( )

活動可能曜日 ☒ 平日 ☐ 土曜日 ☐ 日曜日 ☐ 祝日

活動可能時間帯 ☒ 昼間 ☐ 夜間

その他(必ずご記載ください。)  
☒ 遠距離活動可 ☐ 遠距離活動不可

宿泊を伴う遠距離活動が可能かどうか、  
チェックを入れてください。

要望事項 ※

【推薦欄】

上記の者をものづくりマイスター（IT部門）として推薦します。

企業名：○○○クリエイト株式会社

推薦者名：企画部長 ○○ ○○

（代表者／所属長名）

- 〔記入に当たっての留意事項〕
- 1 記入にあたっては、「ものづくりマイスター認定申請要領」を参照してください
  - 2 『申請種別』については、以下のとおりです。  
新 規：他の業種・職種も含めて、初めて申請される方  
追加申請：過去に別の職種で認定を受けた方で、新たな職種の追加を希望される方  
変 更：前回の申請事項（氏名、現住所、勤務先、認定基準以外の技能（認定された職種に関係があるもの）、活動条件）に変更がある方  
※追加申請・変更の場合は保有する認定番号を記載してください。
  - 3 必須項目  
太枠内は申請種別に限らず記入してください。その他の項目は以下のとおりです。  
新 規：「性別」・「生年月日」・「現住所（〒、電話、携帯電話、E-mail）」・「勤務先（〒、所在地、電話）」・「申請する職種コード」・「認定基準(1)～(3)」・「認定基準以外の技能」・「活動条件」・「推薦欄」  
追加申請：「申請する職種コード」・「認定基準(1)～(3)」  
変 更：変更する項目のみに新しい内容を記入してください。
  - 4 技能に係る主な取得資格等欄に記載した資格・免許等の写しを添付してください。
  - 5 「推薦欄」について、企業等に所属している方は所属企業等の代表者／所属長（二親等以内は除く）の推薦が必要です。  
自営業の方、勤務先の代表者又は所属長が2親等以内の場合は、所属の組合長など第三者の推薦が必要です。
  - 6 本申請書に関する個人情報、当該事業に係わるものの他には使用いたしません。
  - 7 各ページ右上のデータ登録番号欄には、記入しないでください。

【コーナー使用欄】

受理日	令和 6 年 月 日	確認者	○○ ○○
認定基準確認欄 (添付書類)	<input checked="" type="checkbox"/> 技能士 <input checked="" type="checkbox"/> 情報処理技術者試験		
	<input type="checkbox"/> 技能五輪全国大会又は技能五輪国際大会成績優秀者 <input type="checkbox"/> その他の資格		
	<input checked="" type="checkbox"/> 指導経歴記録書(認定申請書別紙1)		
指導技法等講習歴	<input type="checkbox"/> 業務経歴書(「3Dデジタルゲームアート」「グラフィックデザイン」認定申請者のみ)		
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオ(「3Dデジタルゲームアート」「グラフィックデザイン」認定申請者のみ)		
(備考)	<input checked="" type="checkbox"/> 要受講 <input type="checkbox"/> 免除(添付書類) <input type="checkbox"/> 修了		
	( 令和 年 月 日 )		



## ものづくりマイスター(IT部門) 認定対象職種コード表

コード番号	ものづくりマイスター(IT部門)認定対象職種	技能五輪全国大会又は技能五輪国際大会の競技職種
201	ウェブデザイン	ウェブデザイン
202	ITネットワークシステム管理	ITネットワークシステム管理
203	グラフィックデザイン	グラフィックデザイン
204	業務用ITソフトウェア・ソリューションズ(旧:オフィスソフトウェア・ソリューション)	業務用ITソフトウェア・ソリューションズ
205	ロボットソフト組込	無
206	クラウドコンピューティング	クラウドコンピューティング
207	サイバーセキュリティ	サイバーセキュリティ
208	モバイルアプリケーション開発	モバイルアプリケーション開発
209	3Dデジタルゲームアート	3Dデジタルゲームアート
210	AI・機械学習	無
211	データサイエンス(ビッグデータ)	無

※ 申請するものづくりマイスター(IT部門)の認定職種のコード番号は、保有する技能別に下記のとおり選択してください。

ア 技能検定合格者等は上記コード表中に掲げる職種

イ 技能五輪全国大会の成績優秀者(銅賞以上)、技能五輪国際大会の成績優秀者(敢闘賞以上)は、上記コード表の右欄に示された職種

ものづくりマイスター 候補者台帳

／ 枚

令和 年 月 日  
都道府県No  
地域技能振興コーナー

合計 0 名

	データ登録番号(認定番号)	コーナー 整理番号	受付年月日	職種	氏名		受講免除 (修了)	申請 種別	付加事項		備考
				コードと名称	姓	名					
1										DX技術を用い ない改善指導	
2										DX技術を用い ない改善指導	
3										DX技術を用い ない改善指導	
4										DX技術を用い ない改善指導	
5										DX技術を用い ない改善指導	
6										DX技術を用い ない改善指導	
7										DX技術を用い ない改善指導	
8										DX技術を用い ない改善指導	
9										DX技術を用い ない改善指導	
10										DX技術を用い ない改善指導	

ものづくりマイスター 候補者台帳(記入例)

令和 年 月 日  
都道府県No  
地域技能振興コーナー

認定申請書 コーナー  
使用欄の受理日を入力

指導技法等講習の要・否  
について記入してください。

新規:他の職種も含めて、初めて申  
請される方  
追加 :過去に別の職種で認定を受  
けた方

枚  
合計 0 名

	データ登録番号(認定番号)	コーナー 整理番号	受付年月日	職種	氏名		受講免除 (修了)	申請 種別	付加事項	備考
				コードと名称	姓	名				
1		001	令和5年11月4日	005鍛造	モノヅクリ 物作	タロウ 太郎	○	新規	DX技術を用いない 改善指導	
2	2015-01-0001-1		令和5年11月8日	052家具製作 053建具製作	チュウオウ 中央	ハナコ 花子		追加	○ DX技術を用いない 改善指導	
3									DX技術を用いない 改善指導	
4									DX技術を用いない 改善指導	
5									DX技術を用いない 改善指導	
6									DX技術を用いない 改善指導	
7									DX技術を用いない 改善指導	
8									DX技術を用いない 改善指導	
9									DX技術を用いない 改善指導	
10									DX技術を用いない 改善指導	

追加申請の方は現在のデータ登録番号(認定番号)を入力してください。  
西暦年度-県番号-コーナー整理番号-職種数で表されます。  
3番目の数字までがマイスター個人を特定します。  
末尾の数字は、追加申請があり認定された場合は、数が増えています。

コーナーで受け付けた通し番号を入力してください。  
登録後はデータ登録番号の一部に使用しますので重複しないように注意してください。  
(追加申請の方は空欄)

ものづくりマイスターに認定申請する方で、「DX技術を用いない改善指導」の役割の付加を希望される方の場合、○を付してください。

特記事項を入力してください(難解な文字など)。

[illegible]

ものづくりマイスター（+DX） 候補者台帳（記入例）

令和    年    月    日  
都道府県No  
地域技能振興コーナー

認定申請書 コーナー使用欄の受理日を入力

指導技法等講習の要否について記入してください。

新規:他の職種も含めて、初めて申請される方  
追加 :過去に別の職種で認定を受けた方

0 名

	データ登録番号(認定番号)	コーナー整理番号	受付年月日	職種	氏名		受講免除 (修了)	申請 種別	備考
				コードと名称	姓	名			
1		0801	令和5年11月7日	008機械加工	カイゼン 海前	シロウ 史郎		新規	
2	2023-01-0801-1		令和5年11月8日	024機械保全	サトウ 佐藤	ハナコ 花子	○	追加	特記事項を入力してください(難解な文字など)。
3									
4									
5									
6									
7								(	
8									
9									
10									

追加申請の方は現在のデータ登録番号(認定番号)を入力してください。  
西暦年度ー県番号ーコーナー整理番号ー職種数で表されます。  
3番目の数字までがマイスター個人を特定します。  
末尾の数字は、追加申請があり認定された場合は、数が増えていきます。

コーナーで受け付けた通し番号を入力してください。(08から始まる4桁の番号)  
登録後はデータ登録番号の一部に使用しますので重複しないように注意してください。  
(追加申請の方は空欄)

	データ登録番号(認定番号)	コーナー 整理番号	受付年月日	職種	氏名		受講免除 (修了)	申請 種別	備考
				コードと名称	姓	名			
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									



# ものづくりマイスター 認定証

物尾 津久郎 殿

貴殿は 厚生労働省が推進する「ものづくりマイスター」  
事業の趣旨に賛同し これに相応しい以下の分野の優れた  
技能を有するなど その要件に該当することから ここに  
厚生労働省「ものづくりマイスター」として認定します

認定番号 2024-\*\*-\*\*\*\*\*

ものづくりマイスター (〇〇〇職種)

ものづくりマイスター (〇〇〇職種+DX)

ものづくりマイスター (IT部門: 〇〇〇職種)

(※3類型毎に交付)

令和〇年〇月〇日

認定者 中央技能振興センター長



〇〇 〇〇

事業推進者 厚生労働省人材開発統括官



〇〇 〇〇



令和 年 月 日

(申請者氏名) 様

〇〇〇地域技能振興コーナー

## ものづくりマイスター認定結果通知

令和 年 月 日付でいただきましたものづくりマイスターへの認定申請については、別添のとおり認定することが決定されましたので、通知します。

なお、派遣活動をお願いする場合は下記によるものとします。

### 記

#### 1. 派遣活動

「ものづくりマイスター等事業」による派遣は、原則としてものづくりマイスター認定申請書に記入いただいた指導の範囲で行っていただきます。

#### 2. 派遣活動の流れ

- (1) 認定者情報は、中央技能振興センターが運営する「ものづくりマイスター等認定・登録システム」のデータベースに登録します。
- (2) 派遣に当たっては、派遣希望先の依頼を受け「地域技能振興コーナー」が適任者を選任し、派遣希望先の情報や希望等を予めご説明し、ご了解をいただいたうえで、派遣希望先と調整等を行います。(県外の地域技能振興コーナーから依頼される場合もあります。)
- (3) 派遣希望先に紹介し、合意が成立した場合には、厚生労働省が定める事業実施要領等により活動していただきます。
- (4) 派遣活動の結果については、後日、調整を行った地域技能振興コーナーからお伺いたします。

#### 3. 留意事項

- (1) ものづくりマイスター登録は、雇用の斡旋を行うものではありません。
- (2) 派遣活動上知り得た情報は、許可なく開示、漏洩又は利用しないようお願いします。
- (3) 登録の解除は、「ものづくりマイスター認定申請要領」によるものとします。
- (4) 地域における技能振興への協力をお願いすることがあります。

令和 年 月 日

(申請者氏名) 様

〇〇〇地域技能振興コーナー

### ものづくりマイスター認定結果通知

令和 年 月 日付ものづくりマイスターの認定申請については、次の理由により認定に至りませんでしたので通知します。

- ☐ 保有する技能が認定に至らなかった。
- ☐ 実務経験年数の不足
- ☐ 指導経験年数の不足
- ☐ その他 ( )

指導技法等講習受講状況報告書

／ 枚

- ☐ ものづくりマイスター
- ☐ ものづくりマイスター(+DX)
- ☐ ものづくりマイスター(IT部門)

令和    年    月    日

地域技能振興コーナー

合計                      名

	データ登録番号	受講年月日	氏名	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

## 登録の解除にかかる報告書

令和 年 月 日

地域技能振興コーナー

以下のとおり、当該ものづくりマイスターの登録の解除について報告します。

## 1 ものづくりマイスター区分

- ☐ ものづくりマイスター  
☐ ものづくりマイスター(+DX)  
☐ ものづくりマイスター(IT部門)

データ登録番号 (認定番号)		氏名	
認定職種	[コード]	[職種名]	
	[コード]	[職種名]	
	[コード]	[職種名]	
	[コード]	[職種名]	
	[コード]	[職種名]	

## 2 解除理由(該当する項目に○)

① 逸脱した行為	② 活動の見込み無し	③ 申請内容の虚偽	④ 本人の申し出

## 3 概要

--

## 4 資料

別添の通り

## 指導経験歴記録書

氏名：\_\_\_\_\_

★ものづくりマイスターの認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの指導経験を記入してください。

★職業訓練指導員免許保持者（原則として認定対象職種に対応する職業訓練科とする：参考資料参照）は、指導経験を免除します。（提出不要）

★卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びこれらに該当する熟達した技能者のうち認定対象職種に該当するものについては、指導経験を免除します。ただし、実技指導に際してのコーディネートの参考としますので、これまでの指導経験のうちアピールポイントとなる指導経験を3年程度記入してください。（この場合、入職時点からのもので結構です。）

※ものづくりマイスターデータベース（ホームページ）で公表する指導経験（アピールポイントとして分かりやすいもの）を4件程度指定してください。（該当するものに☑を付けてください。）

【職種コード：                  名称：    】職種

## 1 訓練の講師等に従事していた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）	
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）	
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）	
	計	年                  カ月	

## 2 指導すべき部下が存在する役職に就いていた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者	人数	役職名
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）			
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）			
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）			
	計	年                  カ月			

合計（1 + 2）                  年

【職種コード：                  名称：    】職種

## 1 訓練の講師等に従事していた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）	
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）	
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）	
	計	年                  カ月	

## 2 指導すべき部下が存在する役職に就いていた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者	人数	役職名
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）			
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）			
<input type="checkbox"/>		年    月    ～    年    月 （    年                  カ月）			
	計	年                  カ月			

合計（1 + 2）                  年

】職種

1 訓練の講師等に從事していた期間

※公表 可	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)	
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)	
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)	
	計	年 カ月	

## 指導すべき部下が存在する役職に就いていた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者	人数	役職名
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)			
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)			
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)			
	計	年 カ月			

合計 (1 + 2)	年
------------	---

】職種

1 訓練の講師等に從事していた期間

※公表 可	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)	
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)	
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)	
	計	年 ャ月	

2 指導すべき部下が存在する役職に就いていた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者	人数	役職名
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)			
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)			
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)			
	計	年 ャ月			

合計 (1 + 2)	年
------------	---

## 指導経験歴記録書（記入例）

氏名：\_\_\_\_\_

★ものづくりマイスターの認定要件となる資格取得・入賞・表彰・認定等の時点からの指導経験を記入してください。  
 ★職業訓練指導員免許保持者（原則として認定対象職種に対応する職業訓練科とする；参考資料参照）は、指導経験を免除します。（提出不要）  
 ★卓越した技能者（現代の名工）、全技連マイスター及びこれらに該当する熟達した技能者のうち認定対象職種に該当するものについては、指導経験を免除します。ただし、実技指導に際してのコーディネート等の参考としますので、これまでの指導経験のうちアピールポイントとなる指導経験を3年程度記入してください。（この場合、入職時点からのもので結構です。）

※ものづくりマイスターデータベース（ホームページ）で公表する指導経験（アピールポイントとして分かりやすいもの）を4件程度指定してください。（該当するものに☑を付けてください。）

【職種コード： \_\_\_\_\_ 名称： \_\_\_\_\_】 職種 \_\_\_\_\_

1 訓練の講師等に従事していた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者
<input checked="" type="checkbox"/>	自社研修所機械加工科専任講師として実技指導	2015年4月 ～ 2018年9月 ( 3 年 6ヵ月)	新規入職者、中堅社員
<input type="checkbox"/>	グループ企業従業員への普通旋盤作業の実技指導	2020年10月 ～ 2021年3月 ( 年 6ヵ月)	グループ企業社員
<input checked="" type="checkbox"/>	自治体が主催するものづくり体験教室講師	2021年8月 ～ 2021年8月 ( 年 1ヵ月)	地域の小・中学生
	計	4年 1ヵ月	

①単発的（1日～数日等）に講師を行った場合、講師を行った月を1ヵ月としてカウントしてください。  
 ②講師等の委嘱期間や任命期間が設けられている場合、その期間全体をカウントしてください。  
 ③講師を専任で行っている場合（研修所指導員等）は、従事期間を通算でカウントしてください。

●部下の雇用形態は問いません。  
 ●所謂徒弟関係（親方と弟子）も含まれます。

2 指導すべき部下が存在する役職に就いていた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者	人数	役職名
<input checked="" type="checkbox"/>	新規入職者に対する普通旋盤の操作方法のOJT	2022年4月 ～ 2023年3月 ( 1 年 0ヵ月)	新規入職者	5	〇〇株式会社 機械加工部門 班長
<input type="checkbox"/>	中堅社員に対するNC旋盤の操作方法のOJT	2022年4月 ～ 2023年3月 ( 1 年 0ヵ月)	中堅社員	7	〇〇株式会社 機械加工部門 班長
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 )			
	計	1年 0ヵ月			

●同一期間内における指導経験歴（役職に就いていた期間）は、重複記入しないで1期間にまとめて記入してください。（同一期間の指導については内容が異なっても累計しないでください。）  
 例：  
 2005年4月～2010年3月 部下への普通旋盤加工方法のOJT 5年  
 2006年4月～2008年3月 部下へのNC旋盤加工方法のOJT 2年  
 算定年数 5年

合計（1+2） 5年

【職種コード： \_\_\_\_\_ 名称： \_\_\_\_\_】 職種 \_\_\_\_\_

1 訓練の講師等に従事していた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者
<input type="checkbox"/>	ゼネコン主催による棟梁候補者養成研修	2006年1月 ～ 2006年12月 ( 1 年 0ヵ月)	入職後10年程度の棟梁候補者の育成
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 )	
<input type="checkbox"/>	●技能検定委員、補佐員、競技委員としての履歴は「指導」には該当しないので、記入はしないでください。	年 月 ～ 年 月 ( 年 )	
	計	1年 0ヵ月	

2 指導すべき部下が存在する役職に就いていた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者	人数	役職名
<input type="checkbox"/>	建築大工作業に係る現場指導（OJT）	2008年 4月 ～ 2012年 4月 ( 4年 1ヵ月)	新規入職者	2	〇〇株式会社 建築大工部門 職長
<input checked="" type="checkbox"/>	建築大工作業に係る現場指導（OJT）	2012年 5月 ～ 2019年 8月 ( 7年 4ヵ月)	中堅社員	3	〇〇株式会社 建築大工部門 現場監督
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 )			
	計	11 年 5ヵ月			

合計（1+2） 12年

】職種

1 訓練の講師等に從事していた期間

※公表 可	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)	
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)	
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)	
	計	年 カ月	

## 2 指導すべき部下が存在する役職に就いていた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者	人数	役職名
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)			
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)			
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 カ月)			
	計	年 カ月			

合計 (1 + 2)	年
------------	---

】職種

1 訓練の講師等に從事していた期間

※公表 可	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 月 カ月)	
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 月 カ月)	
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 月 カ月)	
	計	年 カ月	

2 指導すべき部下が存在する役職に就いていた期間

※公表	指導内容	期間（西暦で記入してください）	対象者	人数	役職名
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)			
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)			
<input type="checkbox"/>		年 月 ～ 年 月 ( 年 ャ月)			
	計	年 ャ月			

合計 (1 + 2)	年
------------	---



氏名：\_\_\_\_\_

## DX技術・知識等に関する申告書

「ものづくりマイスター(+DX)」申請用

【職種コード： \_\_\_\_\_ 名称： \_\_\_\_\_ 】職種

## 1 認定対象職種について、DXを利活用して生産性向上等の改善を行った実績

実績	概要

(注)なるべく具体的に、平易な表現での記入をお願いします。

## 2 以下の項目に示す内容について、該当するものがあれば記入をお願いします。

「(2)DX関連の技術・知識」の「①DX技術利活用の実績」、「②生産管理におけるデータ収集の実績」は、それぞれ1つ以上該当すること。

区分	チェック項目	チェック
(1)DX・IT関連の資格、講師経験等	認定対象職種についてのDX関連資格 (資格名称・等級を記入してください。)	<input type="checkbox"/>
	DXを利活用した生産性・品質向上に係る公的機関が実施する訓練、認定職業訓練など、公共職業訓練機関と同等の訓練の講師を勤めた経験を有すること。	<input type="checkbox"/>

区分	チェック項目	チェック
(2)DX関連の技術・知識	表計算ソフトなどを活用してデータを分析したことがある。	<input type="checkbox"/>
①DX技術利活用の実績	生産設備のIoTなどのセンシング技術を活用したことがある。	<input type="checkbox"/>
	AIを活用したことがある。	<input type="checkbox"/>
	クラウドシステムなどの外部のサーバー等のデータを活用して、情報を分析したことがある。	<input type="checkbox"/>
	独自の生産管理システムを導入したことがある。	<input type="checkbox"/>
	ロボット、センサー、カメラ等で収集したデータを分析したことがある。	<input type="checkbox"/>
②生産管理におけるデータ収集の実績	生産データ収集のためにNC機等にロボット、センサー、カメラなどを設置したことがある。	<input type="checkbox"/>
	技能の見える化や熟練技能の継承のためにロボット、センサー、カメラなどを設置しデータの収集やマニュアルの作成などを行ったことがある。	<input type="checkbox"/>
	新たにバーコードを導入したり、バーコードの改善を行ったりして生産管理データを収集したことがある。	<input type="checkbox"/>
	データ収集のためのICタグの設置をしたことがある。	<input type="checkbox"/>

### 3 その他の特記すべき事項

DX技術やNC機の導入などの実績など、上記項目にない特記すべき事項を記入

特記すべき項目	概要

(注)なるべく具体的に、平易な表現での記入をお願いします。

氏名：\_\_\_\_\_

## 改善活動等実績申告書

「ものづくりマイスター（+DX）」又は「DX技術を用いない改善指導が可能なものづくりマイスター」申請用

【職種コード：                  名称：                                  】職種

ご自身の生産性向上等に関する改善実績、人材育成の実績などを記載してください。  
記載いただいた実績は、事業所等が派遣依頼をする上での参考とさせていただくことがあります。

取組内容	アピールポイント

※ DX技術用語等は、知識が無い方でも理解しやすい表現で記載してください。

氏名： \_\_\_\_\_

## 改善活動等実績申告書(記入例)

「ものづくりマイスター（+DX）」又は「DX技術を用いない改善指導が可能なものづくりマイスター」申請用

【職種コード： \_\_\_\_\_ 名称： \_\_\_\_\_ 】 職種 \_\_\_\_\_

ご自身の生産性向上等に関する改善実績、人材育成の実績などを記載してください。  
記載いただいた実績は、事業所等が派遣依頼をする上での参考とさせていただきます。

取組内容	アピールポイント
情報の共有化による作業効率・進捗管理の向上、人材の自律意識の向上	<p>当社は、約30名の社員の建設関連業で、社員がそれぞれの施工現場に出向いて作業するため、各作業現場の状況把握、作業の効率化、さらには技能継承が課題となっていた。</p> <p>2017年問題の影響を受け、社員の世代交代のタイミングであったこともあり、技能継承と作業効率の改善を主眼に、デジタル技術の導入による対応策を考案した。役員に目的、費用対効果のプレゼンテーションを行い、クラウドサービスを導入し、各社員にタブレット端末を持たせ、工事日程・人員配置・材料手配・進捗管理をクラウド上で情報共有することとした。この結果、各作業現場における進捗状況等の把握がリアルタイムでできるようになり、急な工程変更が生じた際にも、人員の配置変更や資材の振分け等が円滑に行え、作業効率が大幅に向上した。</p> <p>また、各社員が、会社全体の作業状況を俯瞰できるようになったことから、若手社員に対しては、工程管理の視点やコスト意識をもって仕事に当たるように指導を行っている。また、作業工程の進捗が見えることにより、作業毎の適切なタイミングで、ベテラン社員と若手社員の組合せを行い、計画的なOJTによる技能継承を実施している。</p>
人手不足に対応したデジタル化の推進と運用を担う人材の育成	<p>当社は、社員数約50名の建築・設計を行う会社であるが、ここ数年、人手不足が深刻な課題であったことから、対策の一つとして、手作業のデジタル化を図ることとした。まずは設計部門から着手することとし、社長等に目的と費用対効果等の説明を行い、まずは、設計図面等、紙ベースで管理していたものをデータベース上で管理するようにした。この結果、保管場所の確保や管理要員の労力を削減することができた。また、知的財産でもある設計図面のデータを適切に管理することで、繰り返し有効活用することもできるようになり、設計図面作成時の効率化、コスト削減につながった。</p> <p>デジタル化をスムーズに実現できた背景としては、定期的に社員が自ら企業の経営計画に沿った目標を設定し、労使双方で確認する機会が設けられており、この場を活用して、デジタル化の意義、効果、活用手法について共通認識を持つことができた。</p> <p>この結果、各部署の代表者から構成されるデジタル化推進チームを立ち上げ、工程管理の見える化など、デジタル化を進め、生産性の向上と作業の標準化による効率的な人材育成につなげることができた。</p>
作業工程の見える化による生産性の向上の社員の意識の向上	<p>当社は、社員数約50名の建築・設計を行う会社であるが、ここ数年、人手不足が深刻な課題であったことから、対策の一つとして、手作業のデジタル化を図ることとした。まずは設計部門から着手することとし、社長等に目的と費用対効果等の説明を行い、まずは、設計図面等、紙ベースで管理していたものをデータベース上で管理するようにした。この結果、保管場所の確保や管理要員の労力を削減することができた。また、知的財産でもある設計図面のデータを適切に管理することで、繰り返し有効活用することもできるようになり、設計図面作成時の効率化、コスト削減につながった。</p> <p>デジタル化をスムーズに実現できた背景としては、定期的に社員が自ら企業の経営計画に沿った目標を設定し、労使双方で確認する機会が設けられており、この場を活用して、デジタル化の意義、効果、活用手法について共通認識を持つことができた。</p> <p>この結果、各部署の代表者から構成されるデジタル化推進チームを立ち上げ、工程管理の見える化など、デジタル化を進め、生産性の向上と作業の標準化による効率的な人材育成につなげることができた。</p>
知識やノウハウのデータベース化による業務の標準化と生産性の向上	<p>当社は社員数約100人の製造業であるが、2017年問題をきっかけに、ベテラン社員の高齢化による退職後を見据えた対策を講じるようになった。</p> <p>まずは役員に社員の年齢構成の実態やデジタル化による費用対効果の説明を行い、各製造部門の協力を得て作業チームを作り次の作業を進めた。</p> <p>①属人的に蓄積されていた知識やノウハウを社員一人一人から聴取 ②知識やノウハウの分類、データベース化 ③情報検索機能の構築</p> <p>この取組の結果、従来、ベテラン社員に頼っていた工程管理上の判断等を蓄積されたデータを基に誰でもできるようになり、業務の標準化が図られるとともに、品質確保や生産性の向上が図られた。</p> <p>また、研修担当部署と連携し、標準化された作業手順に基づいた若手社員に対する研修を実施するなど、後継者育成にもつながっている。</p>

※ DX技術用語等は、知識が無い方でも理解しやすい表現で記載してください。

## ものづくりマイスター(IT部門) (グラフィックデザイン職種)

## 業務経歴書(作成例)

氏 名	技能 花子	都道府県	大阪府
勤務先	Flower デザイン株式会社	職 名	第一デザイン部部长兼チーフデザイナー
勤務年数	(20××年×月～現在)在職〇〇年	職務内容	経営及びデザインに関わる全般の統括、制作
資本金	800 万円	従業員数	6 名
年 商	2 億	会社設立年	2010 年 3 月
事業内容	各種印刷物に関わるデザインの企画立案、各種イベント等に関わるアプリケーションの作成、イベント等に関わるグランドデザイン、ブランディング等のコンサルタント等、 その他各種デザインに関わるソリューションの提供		

■主となる勤務先企業情報(複数の企業での勤務経歴がある場合は主たるものや現在の在職先を記入)

●業務経歴において複数の企業、個人での活動がある場合は会社毎などでまとめて記載すること。また、社内外での教育訓練等の業務に従事した場合も記入する事。

期 間	制作物	担当業務	プロジェクトメンバー/ ポジション	作品・プロジェクト (受注金額)
20xx 年 xx 月 ～ 20xx 年 xx 月	A 社向け新商品パッケージのデザイン	企画、立案及びメインビジュアルの作成	4 名 チーフデザイナー	(XXX 万円)
20xx 年 xx 月 ～ 20xx 年 xx 月	某都道府県イベント向け告知アプリケーションの作成	企画立案及びイラスト他ビジュアルデザインのディレクション及びデザイン	3名 チーフデザイナー及びディレクション	(XXXX 万円)
20xx 年 xx 月 ～ 20xx 年 xx 月	B 社の企業パンフレットのデザイン	B 社向け、BtoB 用企業パンフレット及びリクルート用パンフレットチラシ、ポスター等のデザイン	4名 チーフデザイナー	(XXXX 万円)
20xx 年 xx 月 ～ 現在	〇〇大学芸術学部メディアデザイン学科コミュニケーションデザインコース非常勤講師	デザイン演習において課題にあわせたデザインの立案やデザイン展開などにおいて CG などを用いて表現する演習を担当。	対象人数 60 名	
20xx 年 xx 月 ～ 20xx 年 xx 月	B 社の企業ウェブサイトのデザイン	B 社向け、BtoB 用企業サイト及びリクルート用サイトのデザイン	8名(業務委託先2名含む) ビジュアル担当デザイナー及びアートディレクター	(XXXX 万円)
20xx 年 xx 月 ～ 現在	〇〇専門学校ビジュアルデザインコース非常勤講師	デザイン制作演習において、デザイン理論及びデザイン制作用 CG ツールの使用法などについて教授。	対象人数 30 名	

20xx 年 xx 月 ～ 現在	旅行代理店 X 社向け キャンペーンデザイン	良好代理店 X 社に向けた、各種キャンペーン用、 アプリケーション、ポスター、パンフレット、リーフレ ット、ウェブサイトのデザイン	12 名(業務委託先5名 含む) ディレクター兼デザイナ ー	(XXXX 万円)
------------------------	---------------------------	---	---	-----------

●ソフトウェア等(指導等が可能なもの)

Adobe Photoshop、Illustrator、Indesign 等

●取得資格

DTP エキスパート (JAGAT 2005 × × 年 × 月 更新し、現 DTP エキスパート・マイスター)

■特記事項 (教育・職業能力開発支援等に関わる実績・受賞歴等)

- 〇〇専門学校ビジュアルデザインコース デザイン制作演習非常勤講師(20 × × 年 × 月より現在に至る)
- 〇〇大学芸術学部メディアデザイン学科コミュニケーションデザインコースデザイン演習非常勤講師(20 × × 年 × 月より現在に至る)
- 〇〇芸術祭 イラストレーション部門 金賞受賞(国際コンペティション 20 × × 年 × 月)
- 他

以上

ものづくりマイスター(IT部門)(3D デジタルゲームアート職種)

業務経歴書(作成例)

氏 名	技能 太郎	都道府県	東京都
勤務先	株式会社 UVWXYZ	職名	CG 事業部プロデューサー(部長職級)
勤務年数	(20××年×月～現在)在職〇〇年	職務内容	3DCG 等に関わるクリエイションのプロデュース
資本金	3000 万円	従業員数	42 名
年商	12 億	会社設立年	1998 年 10 月
事業内容	CG、ゲームに関わる 3DCG、リアルタイム及びオフライン CG 企画作成、 その他 3DCG ソリューション企画開発		

■主となる勤務先企業情報(複数の企業での勤務経歴がある場合は主たるものや現在の在職先を記入)

●業務経歴において複数の企業、個人での活動がある場合は会社毎などでまとめて記載すること。また、社内外での教育訓練等の業務に従事した場合も記入する事。

期 間	制作物	担当業務	プロジェクトメンバー/ ポジション	作品・プロジェクト (受注金額)
20xx 年 xx 月 ～ 20xx 年 xx 月	映画「〇〇〇〇」内の CG エフェクト素材及 び合成 CG ムービー 作成	CG エフェクト作成、合成用素材作成、CG ムービー編集・更新業務	18 名 3DCG デザイナー	(XXXX 万円)
20xx 年 xx 月 ～ 20xx 年 xx 月	ゲーム「△△△△」 ( <a href="http://www. × × ×. jp">http://www. × × ×. jp</a> )	コンテンツ内オープニング、挿入、エンディング ムービーの企画、作成、編集、アドパタイジング用のムービーの提案及び作成(各コンテンツ用)ムービーのキャラクター及びシーン構成、アニメーションのディレクション	12 名 3DCG ディレクター	(XXXX 万円)
20xx 年 xx 月 ～ 現在	〇〇大学情報処理学部メディアサイエンス 学科 CG コース非常 勤講師	〇〇大学情報処理学部メディアサイエンス科 CG コース 3DCG 制作演習非常勤講師として CG に 関わるプログラミングなどを教授	対象 3 回生 18 名	
20xx 年 xx 月 ～ 20xx 年 xx 月	〇〇テーマパークアトラクション用 3DCG ムービー等の作成 ( <a href="http://www. × × ×. jp">http://www. × × ×. jp</a> )	アトラクションコンテンツ内オープニング、挿入、エンディング、各イベントムービーの企画、作成、編集、企画提案および作成(各コンテンツ用)ムービーのキャラクター及びシーン構成、アニメーションのディレクション企画、デザイン、制作進行管理	20 名 3DCG ディレクター兼 CG デザイナー	(XXXX 万円)
20xx 年 xx 月 ～ 20xx 年 xx 月	企業用 TVCM 用 CG ムービーの制作 ( <a href="http://www. × × ×. jp">http://www. × × ×. jp</a> )	企画・提案、制作進行管理、運用管理  ※コンペ(5 社)により受注獲得	6 名 CGディレクター	(XXXX 万円)

20xx 年 xx 月 ～ 現在	〇〇大学芸術学部メディアサイエンス学科 非常勤講師	〇〇大学芸術学部メディアサイエンス学科 CG コース CG 演習として CG ツールを用いた CG 作品等の作成指導	対象 1・2 回生 60 名	
20xx 年 xx 月 ～ 現在	ゲーム「〇〇〇〇」3DCG ムービー等の作成 (http://www. × × ×.jp)	コンテンツ内オープニング、挿入、エンディングムービーの企画、作成、編集、アドバタイジング用のムービーの提案及び作成(各コンテンツ用)ムービーのキャラクター及びシーン構成、アニメーションのディレクション	28 名 3DCG ディレクター兼 CG デザイナー	(XXXX 万円)

### ●使用言語及びソフトウェア等(指導等が可能なもの)

HTML / XHTML / CSS / JavaScript / C 言語、C++ 他

使用ソフト

Autodesk Maya、Autodesk 3dsmax

Adobe Aftereffects

### ●取得資格

画像処理エンジニア エキスパート(CG-ART 協会 20××年×月)

CG エンジニア検定 エキスパート (CG-ART 協会 20××年×月)

CG-ART マイスター (CG-ART 協会 20××年×月)

### ■特記事項 (教育・職業能力開発支援等に関わる実績・受賞歴等)

〇〇大学情報処理学部メディアサイエンス学科 CG コース 3DCG 制作演習非常勤講師(20××年×月より現在に至る)

〇〇大学芸術学部メディアサイエンス学科 CG コース CG 演習非常勤講師(20××年×月より現在に至る)

〇〇トリエンナーレ メディアアート部門 金賞受賞(国際コンペティション 20××年×月)

他

以上



## ものづくりマイスター(IT 部門) グラフィックデザイン職種 審査用ポートフォリオ(作成例)

### 作成に当たっての留意事項

このポートフォリオはものづくりマイスター(IT 部門) グラフィックデザイン職種の審査認定目的にのみ使用されます。その他このポートフォリオが公開されること等はありません。また、このポートフォリオ内、発注先や納品先、業務委託元等の情報(商品名等)について、契約の守秘義務契約の関係で明らかに出来ない場合は、社名、作品名等は伏せて記入頂いて構いません。また、作品等の概要の為に作品ビジュアルのサムネール、スクリーンショット、カット等についても同様に社名、作品名等は伏せるように修正頂いて構いません。

ポートフォリオの作成については、本様式に自身が業務で制作担当した代表的な作品(個人、プロジェクトチーム等で作成した作品 5 作品以上 10 作品程度)を記載してください。ポートフォリオに記載する作品の制作年月日は時系列で記入してください。

ポートフォリオの作成に当たっては次の情報等を入力してください。

ポートフォリオ入力必要情報

- ・作品名、作品タイトル
- ・作品形式<電子データ、静止画、動画、設計画面等>、提供サイズや印刷方式、納品形式等
- ・作品ビジュアル(画像<スクリーンショット等>)の情報
- ・制作年月日
- ・クライアント名(守秘義務違反にならない範囲で記載の事)や納品先
- ・作品コンセプトやポイント
- 作品の狙いや目的(例:新商品の広告キャンペーン、イベントなどへの集客向上など)、ターゲットユーザー、クライアントの意向や制作上の制約などの経緯(守秘義務違反にならない範囲で記載の事)
- ・制作時間
- ・担当とポジション(プロジェクトチームで制作した作品の場合等)
- ・制作環境(使用ソフトなど)

<作成例>

氏 名		都道府県	
-----	--	------	--

作品番号	1
作品タイトル	ウェブデザイン技能検定 2022 年度用告知ポスター
作品形式	CMYK、PDF 形式、オンデマンド印刷(1000 部印刷)
サイズ	A4 縦位置
その他	配布用 PDF データ及び印刷物を作成し納品

作品サムネール



ウェブデザイン技能検定の告知ポスター

制作年月日	2021 年 11 月
クライアント名等	特定非営利活動法人●●認定普及協会
作品コンセプト・ポイント等	特定非営利活動法人●●認定普及協会が実施するウェブデザイン技能検定の 2022 年度実施告知用ポスターとして全国の高等学校、専門学校、大学などに配布するポスターで、ターゲットユーザや検定のイメージ、主催である法人のブランディングに配慮したデザインを行った。特にポスターの対象者である若年者層に訴求できるようにスタイリッシュな配色、構成とし、ポスターの告知事項について明確に段階をつけてリズム的に配置している。
制作時間	2 週間程度
認定者の制作箇所やプロジェクトチーム内での分担ポジション	全 3 名のプロジェクトチームで制作 自身のポジションは、ディレクターとして、2 名のデザイナーと制作 全体のプロジェクトマネジメントも担当
制作環境等	MacOS、AdobeCC Photoshop、Illustrator 他

## ものづくりマイスター(IT 部門) 3D デジタルゲームアート職種 審査用ポートフォリオ(作成例)

### 作成に当たっての留意事項

このポートフォリオはものづくりマイスター(IT 部門) 3D デジタルゲームアート職種の審査認定目的にのみ使用されます。その他このポートフォリオが公開されること等はありません。また、このポートフォリオ内、発注先や納品先、業務委託元等の情報(商品名等)について、契約の守秘義務契約の関係で明らかに出来ない場合は、社名、作品名等は伏せて記入頂いて構いません。また、作品等の概要の為に作品ビジュアルのサムネール、スクリーンショット、カット等についても同様に社名、作品名等は伏せるように修正頂いて構いません。

ポートフォリオの作成については、本様式に自身が業務で制作担当した代表的な作品(個人、プロジェクトチーム等で作成した作品 5 作品以上 10 作品程度)を記載してください。ポートフォリオに記載する作品の制作年月日は時系列で記入してください。

ポートフォリオの作成に当たっては次の情報等を入力してください。

ポートフォリオ入力必要情報

- ・作品名、作品タイトル
- ・作品形式<静止画、設計画面、動画、リアルタイムプログラム等>、提供サイズや時間等
- ・作品ビジュアル(画像<スクリーンショット等>)の情報
- ・制作年月日
- ・クライアント名(守秘義務違反にならない範囲で記載の事)や納品先
- ・作品コンセプトやポイント
- 作品の狙いや目的(例:新商品の広告キャンペーン、コンバージョン率の向上など)、ターゲットユーザー、クライアントの意向や制作上の制約などの経緯(守秘義務違反にならない範囲で記載の事)
- ・制作時間
- ・担当とポジション(プロジェクトチームで制作した作品の場合等)
- ・制作環境(使用ソフト、使用言語など)

<作成例>

氏 名		都道府県	
-----	--	------	--

作品番号	1
作品タイトル	ゲームのオープニングムービー(エフェクトパート)
作品形式	フル HD ムービー
サイズ	フル HD サイズ
時間等	3 分 20 秒

作品サムネール



ゲームタイトル「A」のオープニングムービー

制作年月日	2011 年 8 月
クライアント名等	株式会社●●●ゲーム
作品コンセプト・ポイント等	株式会社●●●ゲームのゲームタイトル「A」のゲームの世界観、内容に合わせてリアルな仮想世界を 3DCG モデルで作成し、スピード間のある映像処理を加えてテンポのある構成で CG ムービーの作成を行った。特にゲームの世界観を表現したリアルな都市景観やゲームに登場するキャラクターや乗り物などを提示し主観移動によるスピード感のある映像表現することによってゲーム導入時のユーザーの期待感を高めるように留意した。
制作時間	4 か月程度
認定者の制作箇所やプロジェクトチーム内での分担ポジション	全 24 名のプロジェクトチームでの制作 自身のポジションは、CG チームのチームリーダーを担当した。 3DCG のモデリングおよび全体のワールド構成などを中心に受け持ちした。また、チーム全体のプロジェクトマネジメントのサポートも担当した。
制作環境等	Windows、MacOS、Autodesk Maya、Autodesk 3dsMAX 他 また、CG の一部に C#によるモーションを生成するプラグイン、スクリプトを使用した。

## ITSSのキャリアフレームワークと認定試験・資格とのマップ Ver12.2

ITSSのスキル熟達度と、各種認定試験・資格を対応付けている。同一レベル内にある認定試験・資格同士に上下関係はない。

各種認定試験・資格のレベルは、技術レベルだけを示すものではない。合格・取得に必要な期間、プロセス、方法、合格・取得率などから総合的に判断している。

(2024年2月29日現在)

特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会  
教育企画委員会

[illegible]

## ITSSのキャリアフレームワークと認定試験・資格とのマップ Ver12.2

ITSSのスキル熟達度と、各種認定試験・資格を対応付けている。同一レベル内にある認定試験・資格同士に上下関係はない。

各種認定試験・資格のレベルは、技術レベルだけを示すものではない。合格・取得に必要な期間、プロセス、方法、合格・取得率などから総合的に判断している。

(2024年2月29日現在)

特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会  
教育企画委員会

[illegible]

## ITSSのキャリアフレームワークと認定試験・資格とのマップ Ver12.2

ITSSのスキル熟達度と、各種認定試験・資格を対応付けている。同一レベル内にある認定試験・資格同士に上下関係はない。

各種認定試験・資格のレベルは、技術レベルだけを示すものではない。合格・取得に必要な期間、プロセス、方法、合格・取得率などから総合的に判断している。

(2024年2月29日現在)

特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会  
教育企画委員会

職種		マーケティング			セールス			コンサルタント		ITアーキテクト			プロジェクトマネジメント				ITスペシャリスト				アプリケーションスペシャリスト		ソフトウェアディベロップメント			カスタマサービス			ITサービスマネジメント			エデュケーション					
専門分野		トータルマーケティングマネジメン	販売チャネル戦略	マーケティングコミュニケーション	訪問型コンサルティング	訪問型製品セールス	メディア利用型セールス	インダストリ	ビジネスファンクション	アプリケーションアーキテ	インテグレーションアーキ	インフラストラクチャアー	システム開発	ITアウトソーシング	ネットワークサービス	ソフトウェア製品開発	プラットフォーム	ネットワーク	データベース	システム管理	セキュリティ	業務システム	業務パッケージ	基本ソフト	ミドルソフト	応用ソフト	ハードウェア	ソフトウェア	ファシリテイマジメント	運用管理	システム管理	オペレーション	サービスデスク	研修企画	インストラクション		
					情報処理技術者試験 基本情報技術者試験																		Associate Cloud Engineer													●アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 Cloud Practitioner(AWS Certified Cloud Practitioner) Developer – Associate(AWS Certified Developer – Associate) Solutions Architect – Associate(AWS Certified Solutions Architect – Associate) SysOps Administrator – Associate(AWS Certified SysOps Administrator – Associate) DevOps Engineer – Professional(AWS Certified DevOps Engineer – Professional) Solutions Architect – Professional(AWS Certified Solutions Architect – Professional) Advanced Networking – Specialty(AWS Certified Advanced Networking – Specialty) Database – Specialty(AWS Certified Database – Specialty) SAP on AWS – Specialty(AWS Certified SAP on AWS – Specialty) Security – Specialty(AWS Certified Security – Specialty)	
	レベル1				CompTIA A+													CompTIA Network+			OCUP-Fundamental			CompTIA A+, CompTIA Network+		CompTIA A+, CompTIA Network+											●グーグル Cloud Digital Leader Associate Cloud Engineer Professional Cloud Architect Professional Cloud Developer Professional Cloud DevOps Engineer Professional Cloud Network Engineer Professional Cloud Security Engineer Professional Google Workspace Administrator
					CompTIA Cloud Essentials+					Certified Foundations Associate								CDCP		CDCP							CDCP									●マイクロソフト Azure Fundamentals Azure Data Fundamentals Azure Administrator Associate Azure Database Administrator Associate Azure Developer Associate Azure Security Engineer Associate Azure Security Operations Analyst Associate Azure Stack Hub Operator Associate Azure for SAP Workloads Specialty Azure Virtual Desktop Specialty Azure DevOps Engineer Expert Azure Solutions Architect Expert	
																		ORACLE MASTER Bronze DBA 2019			ORACLE MASTER Bronze DBA 2019			CCT		CCT											
																		CCT		OCA SA	WDE			WDE			ウェブ・セキュリティ基礎										●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。
																																				●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。	
																																					●ITSSキャリアフレームワークにて定義の無い職種レベルについては、資格のマッピング対象外とした。

(参考)

職業能力開発促進法施行規則の「別表11の2」に基づいて、職業訓練指導員の「免許職種(全123職種)」と、「技能検定職種」の対応関係を規定しています。

## 職業訓練指導員免許職種(123職種)と技能検定職種との対応表

免許職種	技能検定職種
園芸科	園芸装飾
造園科	造園
森林環境保全科	
鉄鋼科	金属溶解
鋳造科	金属溶解／鋳造／粉末冶金／ダイカスト
鍛造科	鍛造
熟処理科	金属熟処理／金属材料試験
機械科	機械加工／非接触除去加工（旧放電加工）／金型製作／工業彫刻／仕上げ／機械検査／機械保全／油圧装置調整／テクニカルイラストレーション／機械・プラント製図／切削工具研削
溶接科	
塑性加工科	金属プレス加工／工場板金／鉄工／建築板金
構造物鉄工科	鉄工
金属表面処理科	めっき／アルミニウム陽極酸化処理
電子科	電子回路接続／電子機器組立て／半導体製品製造／自動販売機調整
メカトロニクス科	電気機器組立て
電気科	電気機器組立て／自動販売機調整／電気製図
電気工事科	
コンピュータ制御科	
発電電科	
送配電科	
自動車製造科	内燃機関組立て
自動車整備科	
自動車車体整備科	
航空機製造科	
航空機整備科	
鉄道車両科	鉄工／鉄道車両製造・整備
造船科	鉄工
時計科	時計修理
光学ガラス科	眼鏡レンズ加工／光学機器製造
光学機器科	光学機器製造
計測機器科	
理化学機器科	家庭用電気治療器調整
製材機械科	切削工具研削／製材のこ目立て
内燃機関科	内燃機関組立て
縫製機械科	縫製機械整備
建設機械科	建設機械整備
建設機械運転科	
農業機械科	農業機械整備
冷凍空調機器科	冷凍空調と機器施工
織機調整科	織機調整
織布科	
染色科	染色
ニット科	ニット製品製造
洋裁科	婦人子供服製造
洋服科	紳士服製造
和裁科	和裁
寝具科	寝具製作
帆布製品科	帆布製品製造
縫製科	布はく縫製
木型科	木型製作
木工科	木工機械調整／機械木工／家具製作／建具製作／製材のこ目立て
木材工芸科	漆器製造
竹工芸科	竹工芸
紙器科	紙器・段ボール箱製造
製版・印刷科	製版／印刷
製本科	製本
プラスチック製品科	プラスチック成形／強化プラスチック成形
レザー加工科	
ガラス科	ガラス製品製造
ほうろろ製品科	ほうろろ加工

免許職種	技能検定職種
陶磁器科	陶磁器製造
ブロック建築科	れんが積み／ブロック建築／エーエルシーパネル施工
石材科	石材施工／コンクリート積みブロック施工
麺科	製麺
パン・菓子科	パン製造／菓子製造
食肉科	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
水産物加工科	水産練り製品製造
発酵科	みそ製造／酒造
建築科	建築大工／枠組壁建築／バルコニー施工／建築図面製作／サッシ施工
屋根科	かわらぶき
とび科	とび
左官・タイル科	左官／タイル張り
築炉科	れんが積み／築炉
畳科	畳製作
配管科	配管／浴槽設備施工
住宅設備機器科	
さく井科	さく井／ウエルポイント施工
建設科	型枠施工／鉄筋施工／コンクリート圧送施工
枠組壁建築科	建築大工／枠組壁建築／バルコニー施工／建築図面製作
プレハブ建築科	
スレート科	スレート施工
建築板金科	建築板金
防水科	防水施工
インテリア科	内装仕上げ施工／表装
床仕上げ科	内装仕上げ施工
熱絶縁科	熱絶縁施工
サッシ・ガラス施工科	カーテンウォール施工／ガラス施工／サッシ施工
土木科	ウエルポイント施工
測量科	
ボイラー科	
クレーン科	
港湾荷役科	
化学分析科	化学分析
公害検査科	
漆器科	漆器製造
貴金属・宝石科	貴金属装身具製作
印章彫刻科	印章彫刻
表具科	表装
塗装科	塗装／塗料調色
広告美術科	広告美術仕上げ
義肢装具科	義肢・装具製作
フォークリフト科	
電気通信科	
電話交換科	
工業包装科	工業包装
事務科	
貿易事務科	
流通ビジネス科	
介護サービス科	
写真科	写真
理容科	
美容科	
ホテル・旅館・レストラン科	
観光ビジネス科	
建築物衛生管理科	ビルクリーニング
建築物設備管理科	ビル設備管理
日本料理科	
中国料理科	調理
西洋料理科	
臨検検査科	
デザイン科	
フラワー装飾科	フラワー装飾
情報処理科	